

日本育種学会 第106回講演会プログラム

2004年秋 三重大学

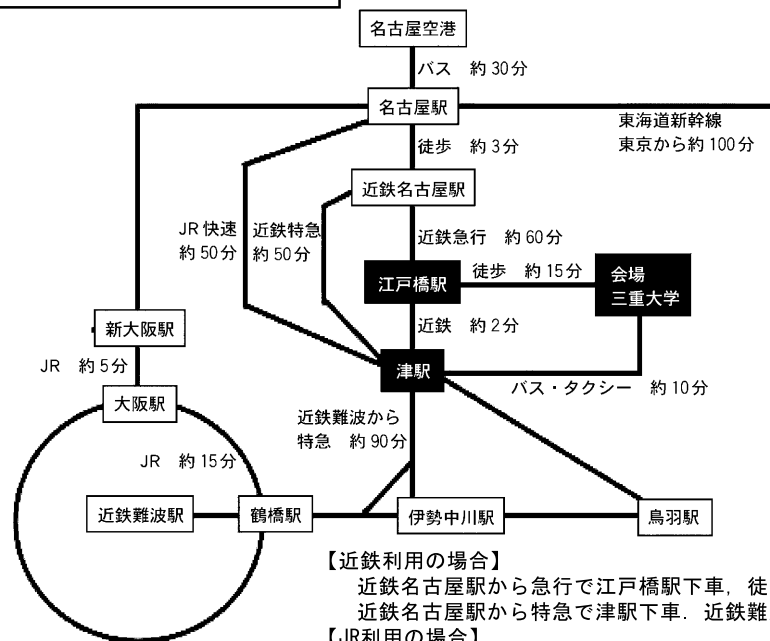
大会本部 (Tel: 090-7867-1131, 期間中のみ)

9月20日	午後	幹事会 14:00~18:00 (生物資源学部1階大会議室)
-------	----	--------------------------------

		第1会場 190番教室	第2会場 120番教室	第3会場 281番教室	第4会場 1231番教室	第5会場 1211番教室	第6会場 1221番教室	第7会場 1321番教室
9月21日	午前	ゲノム解析 101-115 9:00-12:00	遺伝子・蛋白質 201-215 9:00-12:00	発育生理 301-315 9:00-12:00	変異創成 401-415 9:00-12:00	品種育成 501-515 9:00-12:00	抵抗性 品質成分 601-615 9:00-12:00	遺伝資源 系統分化 701-715 9:00-12:00
	午後	シンポジウム 13:00~17:00 I 遺伝子組換え植物に関する取り扱いルール及び社会受容の世界的動向と今後の取り組み (第1会場) II イネの応用研究は誰が担うのか (第2会場) III 植物栄養の育種への利用ー窒素栄養の遺伝・育種学ー (第4会場) IV 栽培植物の起源は一元的か多能的か?ー最近の研究成果から進化を考えるー (第5会場)						
		懇親会 18:00~20:00 (ホテルグリーンパーク津, 6階 伊勢・安濃の間)						
9月22日	午前	ゲノム解析 116-130 9:00-12:00	遺伝子・蛋白質 216-230 9:00-12:00	発育生理 316-330 9:00-12:00	変異創成 416-430 9:00-12:00	品種育成 育種情報 変異解析 516-530 9:00-12:00	抵抗性 品質成分 616-630 9:00-12:00	遺伝資源 系統分化 716-730 9:00-12:00
	午後	ゲノム解析 131-147 13:00-16:24	遺伝子・蛋白質 231-245 13:00-16:00	発育生理 増殖 331-348 13:00-16:36	変異創成 431-446 13:00-16:12	変異解析 531-548 13:00-16:36	抵抗性 品質成分 631-643 13:00-15:36	遺伝資源 系統分化 731-747 13:00-16:24
		グループ研究集会 17:00~19:00						

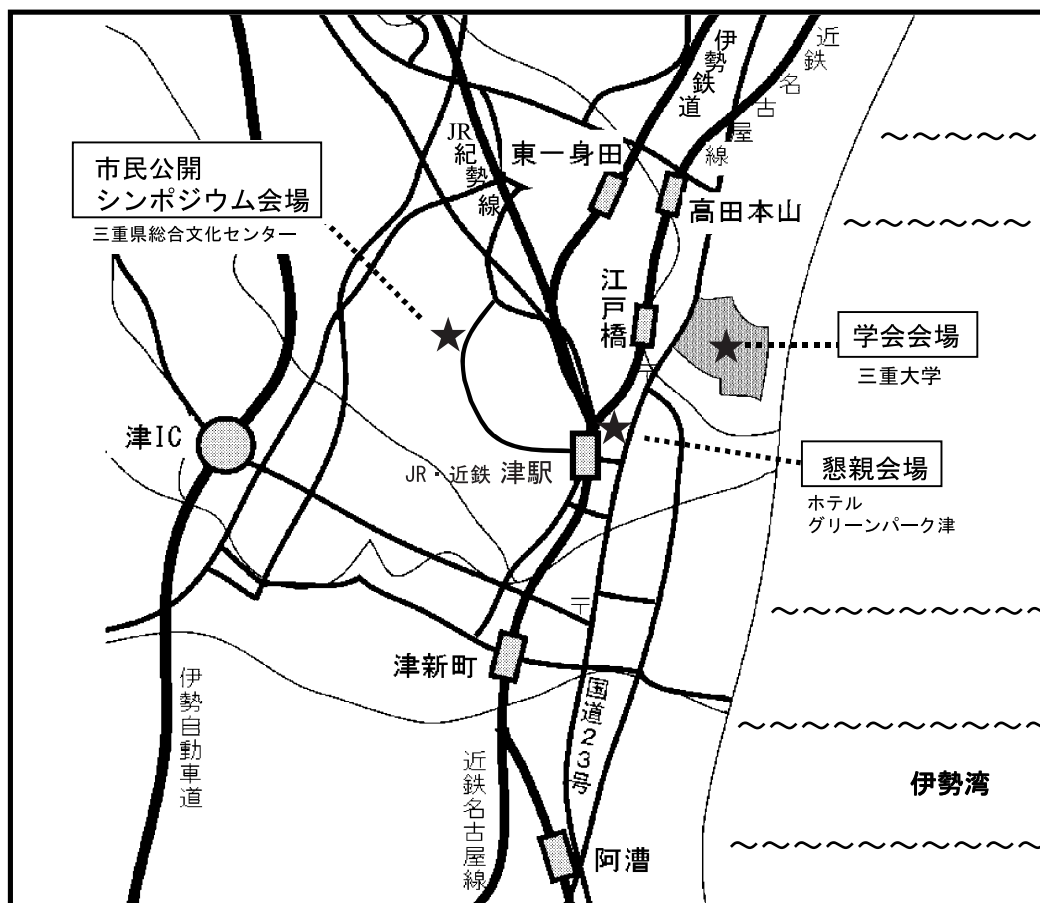
9月23日	午後	市民公開シンポジウム 13:00~17:30 (三重県総合文化センター・多目的ホール) 植物バイオと私達のくらしー食と生活を彩る植物の改良ー 主任: 神山康夫 (三重大学生物資源学部) 司会: 小島昭夫 (野菜茶業研究所) 「花の色と形をデザインする」 柴田道夫 (花き研究所) 「野菜の多様性とその品種改良」 石内傳治 (野菜茶業研究所) 「多彩なサツマイモ品種と新用途の開発」 吉永 優 (九州沖縄農業研究センター) 「機能性成分を活かした茶の開発ー花粉症に効くお茶など」 武田善行 (野菜茶業研究所) 「三重のブランド品種を創るーイネ品種「みえのえみ」の誕生と普及」 橘 尚明 (三重県科技振センター) 「イネゲノムの情報を利用した分子育種の展望」 松岡 信 (名古屋大学) 「閉会挨拶」 平井篤志 (日本学術会議・育種学研連)
-------	----	---

会場（三重大学）への交通案内



会場周辺案内図

津駅から三重大学までバスまたはタクシーで約10分。



会場案内図



一般講演会: 三重大学共通教育校舎(1～3号館)

幹事会: 三重大学生物資源学部(1F, 大会議室)

- 1) 近鉄・JR「津」駅, 東口バスセンター4番のりばから, 三重交通バス「白塚駅前」行, 「棕本」行, 「豊里ネオポリス」行, 「三重病院」行, 「太陽の街」行, 「三行」行のいずれかに乗車, 「大学前」下車(約10分, 200円), 徒歩約5分。
- 2) 近鉄・JR「津」駅東口から, タクシーで約10分(正門まで, 1000円程度)。
- 3) 近鉄「江戸橋」駅下車, 徒歩約15分。

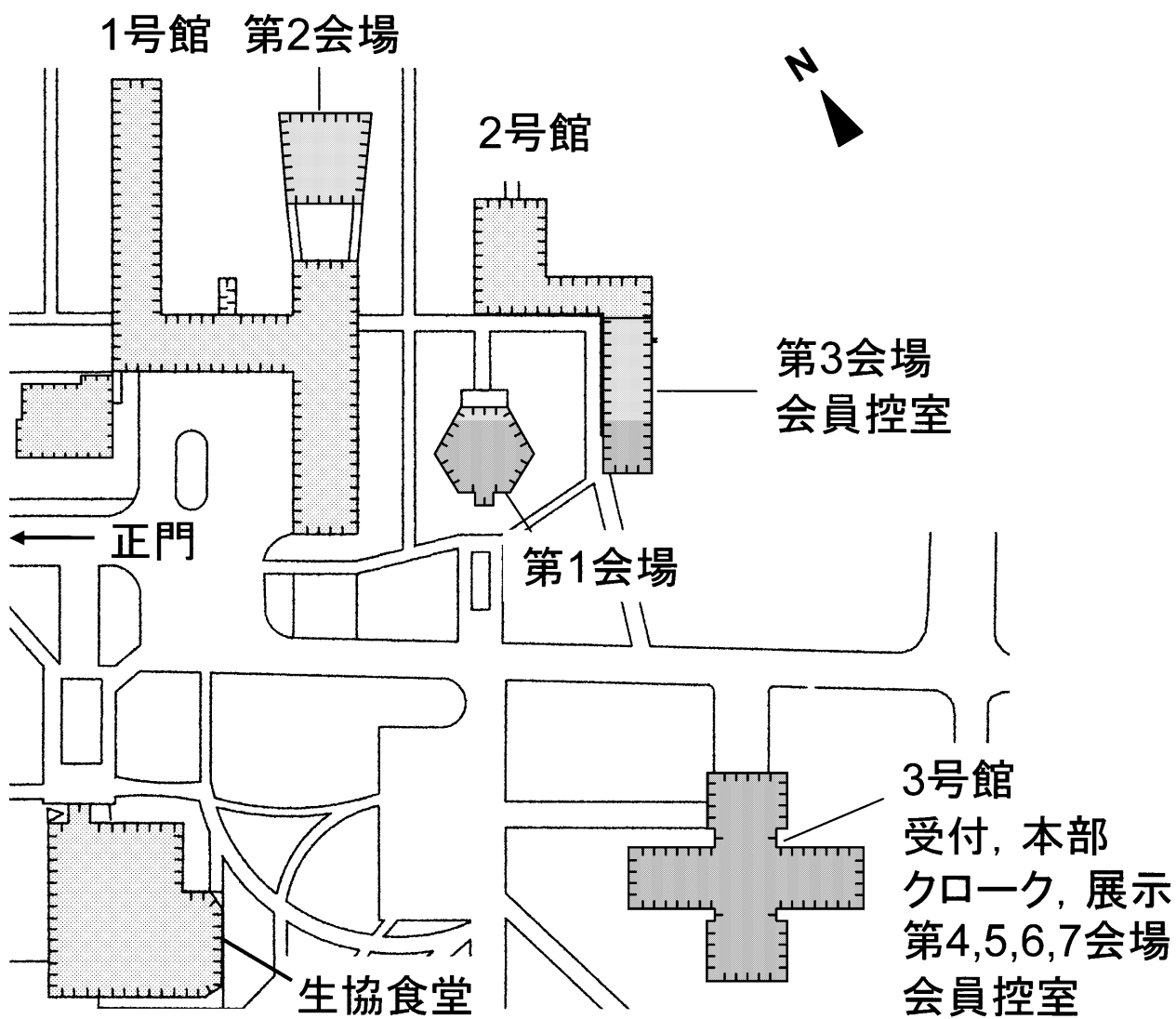
懇親会: ホテルグリーンパーク津

近鉄・JR「津」駅, 東口すぐ。シンポジウム終了後, 講演会場からバス(貸切)が出ます。

市民公開シンポジウム: 三重県総合文化センター・多目的ホール

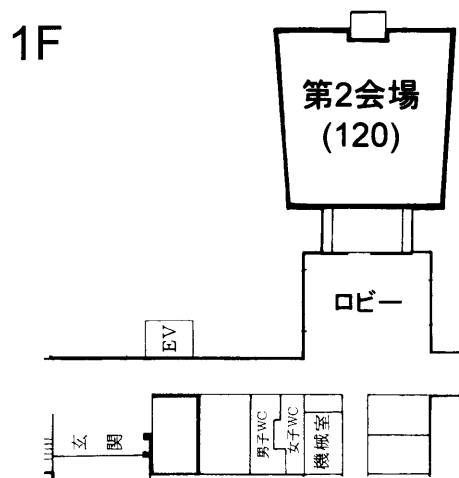
- 1) 近鉄・JR「津」駅, 西口バスのりばから, 三重交通バス「総合文化センター」行または「総合文化センター一前」行乗車, 「総合文化センター前」下車(約5分, 200円), 徒歩3分。
- 2) 近鉄・JR「津」駅西口から, タクシーで約5分。

共通教育校舎配置図

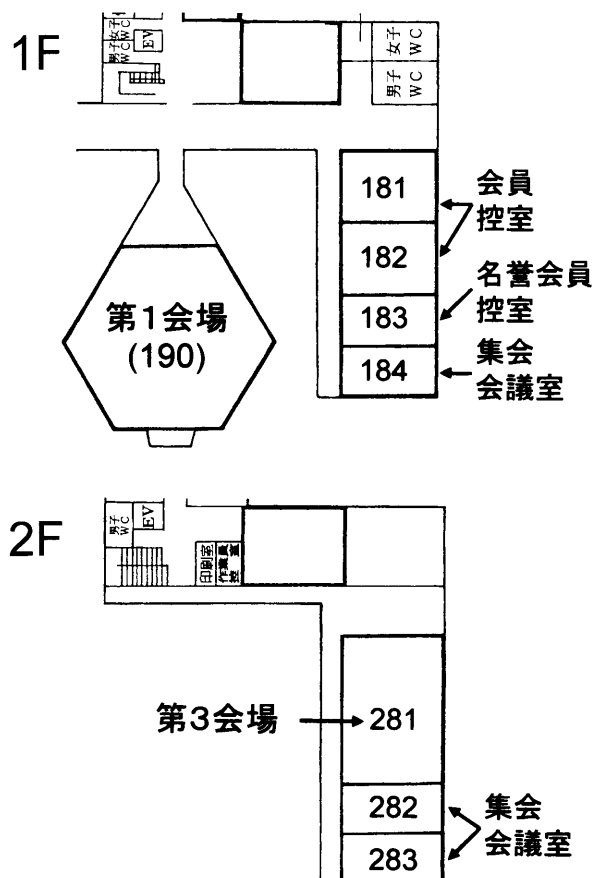


講演会場配置図

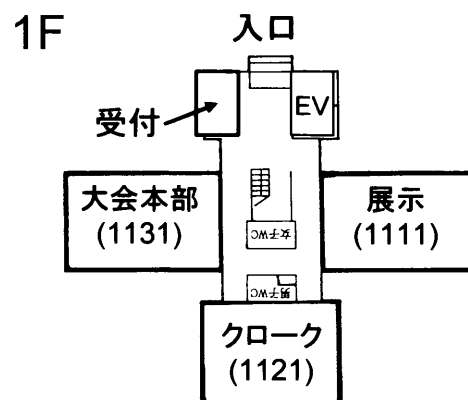
1号館



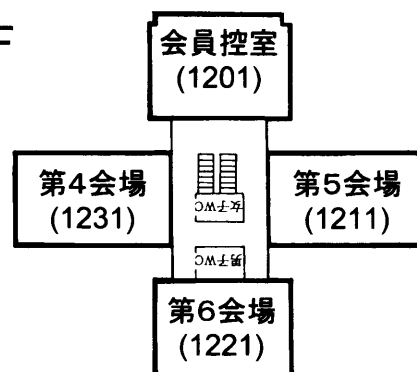
2号館



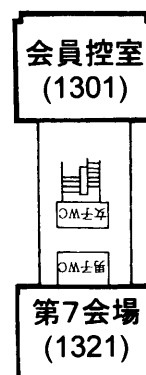
3号館



2F



3F



9月20日	幹事会 (生物資源学部・1階・大会議室)
14:00 ↓	
18:00	

1日目(9月21日)午前			
9月21日	第1会場(190番教室)	第2会場(120番教室)	第3会場(281番教室)
	◆座長 武田 真(香川大農)	◆座長 野々村賢一(遺伝研)	◆座長 岸谷幸枝(東北大院農)
9:00	101 コムギ種子休眠性QTLのマッピングとそれらのピラミディング効果 森 正彦1・内野紀彦1・蝶野真喜子2・加藤清明1・〇三浦秀穂1(1.帯広畜大、2.作物研)	201 ツツジにおけるクラスB遺伝子の単離と解析 〇中務 明・柴 史子・小林伸雄(島根大生物資源科)	301 CW型細胞質雄性不稔イネにおける稈性回復遺伝子 <i>Rfcw</i> のマッピング 〇藤井壮太・鳥山欽哉(東北大院農)
9:12	102 コムギ種子休眠性QTL <i>QPhs.ocs-3A.1</i> に対するPCRマーカーの開発 〇内野紀彦・加藤清明・三浦秀穂(帯広畜大)	202 ムスカリ <i>DEF-like</i> 遺伝子の単離およびレーザーマイクロダイセクションによる発現解析 〇中田睦1、小松めぐみ1、落合利紀1、大津和弘2、中園幹生2、西澤直子2.3、菅野明1、亀谷寿昭1(1.東北大院生命科学、2.東大院農学生命科学、3.CREST)	302 イネのWA型雄性不稈細胞質に対する稈性回復遺伝子座のSSRマーカーによる分析1. 〇榎橋勇介1・塚田智恵1・本村恵2・清水顕史1・矢戸理恵子1・野村和成1・池橋宏1(1.日本大生物資源、2.琉球大農)
9:24	103 オオムギP23k遺伝子のオオムギとコムギゲノムでの比較解析 〇神崎比呂1・木藤新一郎2・三浦秀穂1・沢田壮兵1・加藤清明1(1.帯広畜産大、2.岩手大農)	203 ユリAGAMOUS-like遺伝子の単離および機能解析 〇菅野明1、中村徹1、福田達哉1、落合利紀1、亀谷寿昭1、Heinz Saedler2、Guenther Theissen3(1.東北大院生命科学、2.独マックスプランク植物育種研、3.独イエナ大)	303 テンサイ系統NK198の保持する稈性回復遺伝子 <i>Rfx</i> の遺伝解析 萩原 栄揮・品田 博史・川西 由紀・〇久保友彦・三上 哲夫(北大院農)
9:36	104 オオムギESTマーカーを利用したオオムギおよび二倍性コムギにおける第4、第5同祖群の構造推定 〇竹原小百合1・南角奈美1.2・元井由加1.2・堀清純1・佐藤和広1・笹隈哲夫3・武田和義1(1.岡山大資生研、2.CREST、3.横浜市立大木原研)	204 食用アスパラガスにおける花のBクラス遺伝子群のゲノム構造 〇伊藤卓朗1、落合利紀1、鈴木剛2、菅野明1、亀谷寿昭1(1.東北大院生命科学、2.大阪教育大)	304 テンサイの稈性回復遺伝子 <i>Rfx</i> 座に見出されたメタプロテアーゼ様配列の特徴づけ 〇松平洋明・浜口祐子・萩原栄揮・久保友彦・三上哲夫(北大院農)
9:48	105 Extended application of barley EST markers for genomic analysis of wheat-related species 〇Hagras, A. A.1, M. Kishii1, K. Sato2, and H. Tsujimoto1(1. Fac. Agr., Tottori U., 2. Res. Inst. Biores., Okayama U.)	205 イネの花器官数を制御する <i>FLORAL ORGAN NUMBER2</i> 遺伝子の単離と機能解析 〇寿崎拓哉1、鳥羽太陽1、北野英巳2、平野博之1.3(1.東大院農学生命科学、2.名大院生命科学、3.東大院理系)	305 野生ビートより見出されたG型CMSミトコンドリアゲノムは他のテンサイゲノムと比較して著しい異型性を示す 〇川西由紀・品田博史・久保友彦・三上哲夫(北大・院・農)
	◆座長 三浦秀穂(帯広畜大)	◆座長 平野博之(東大院理)	◆座長 久保友彦(北大院農)
10:00	106 オオムギ7H染色体標性遺伝子座領域のイネとのシグネチャー 〇粟山貴也1・山本傑1・天野里子1・櫻井幸恵1・水元若菜1・一井眞比古1・最相大輔2.3・佐藤和広2.3・武田和義2.3・川崎信二3.4・武田真1.3(1.香川大農、2.岡大資生研、3.CREST、4.生物研)	206 イネ矮性変異体ふ系71号の欠損遺伝子 <i>d50</i> の単離 〇佐藤かな1、間瀬浩平1、中野仁美1、田村克徳2、芦荻基行3、服部一三4、松岡信3、片山義博1、北野英巳3(1.東京農工大院BASE、2.九州沖縄農研、3.名大生物機能開発利用研究センター、4.名大生命科学)	306 <i>mur</i> 型細胞質雄性不稈 <i>Brassica oleracea</i> で特異的に発現するミトコンドリアキメラORF72 〇品田智隆・菊池洋介・岸谷幸枝(東北大院農学)
10:12	107 オオムギ7H染色体に座乗する密穂および短芒遺伝子のマッピング 〇武田真1・櫻井幸恵1・天野里子1・Asif Javid2・一井眞比古1(1.香川大農、2. NARC, Pakistan)	207 イネ矮性変異体ふ系71号、欠損遺伝子(<i>d50</i>)の発現制御に関する解析 〇中野仁美1・佐藤かな1・間瀬浩平1・小原主1・北野英巳2・片山義博1(1.農工大院BASE、2.名大生物機能開発利用センター)	307 Effect of alloplasm (<i>Brassica Juncea</i> and <i>B.napus</i>) on <i>B.carinata</i> . In F2 generation 〇Caitao Chang, Kana Hondo, Fumika Kakiyara, Masahiro Kato(Facu. of Agr., Ehime U.)
10:24	108 Extensive development of AFLP markers in the <i>FT1</i> region using residual heterozygosity lines in soybean 〇 Zhengjun Xia1 Satoshi Watanabe1, Naoki Yamanaka2, Kyuya Harada1 (1 Fac.Hort. Chiba U. 2 JIRCUS.)	208 イネアクトベーションタギングにより得られた疑似病斑変異体及び短粒変異体の原因遺伝子解析 〇森昌樹1、富田千賀子1,2、長谷川守文3、林長生1、杉本和彦1、関本均2、廣近洋彦1、菊池尚志1(1.農業生物資源研究所、2.宇都宮大院・農、3.茨城大・農)	308 <i>Bax</i> と <i>AtBI-1</i> をタバート組織で発現させたシロイヌナズナの解析 〇川邊隆大・有泉亨・鳥山欽哉(東北大院農学)
10:36	109 RHLを用いたダイズ開花期関連遺伝子座 <i>FT2</i> の精密マッピング 〇山中直樹1・渡辺啓史2・安田淳之助1・夏正俊3・原田久也2.3(1.国際農研、2.千葉大院自然科学、3.千葉大園芸)	209 イネで多重遺伝子を構成するスフィンゴ脂質C4ハイドロキシルゼン遺伝子の構造および発現解析 〇草野博彰1.2・今村智弘1・梶谷由美子1・門脇光一2・島田浩章1(1.東京理科大・生物工、2.農業生物資源研)	309 イネ特異的遺伝子の発現解析 〇斎藤寛1・増子潤美1・土屋亨2・遠藤誠1.3・箱崎宏和1・Park Jong-In1・伊藤仁1.3・内田正則1.4・東谷篤志3・渡辺正夫1(1.岩手大農、2.三重大生命科学、3.東北大院生命科学、4.福島明成農高)
10:48	110 マップベースクローニングにむけたダイズ開花期関連遺伝子座 <i>FT3</i> の精密マッピング 〇渡辺啓史1・夏正俊2・山中直樹3・原田久也1.2(1.千葉大院自然科学、2.千葉大園芸、3.JIRCAS)	210 減数分裂の相同染色体対合を仲介するイネPAIR2タンパク質 〇野々村賢一1.2・中野睦子1・永口貢1・倉田のり1.2(1.遺伝研、2.総研大生命科学)	310 ミヤコグサ新規小胞子特異的遺伝子の単離と発現部位解析 〇箱崎宏和1・遠藤誠1.2・増子潤美1・Park Jong-In1・斎藤寛1・伊藤仁1.3・内田正則1.4・東谷篤志3・渡辺正夫1(1.岩手大農2.東北大院生命科学3.福島明成農高4.福島農短)

1日目(9月21日)午前			
第4会場(1231番教室)	第5会場(1211番教室)	第6会場(1221番教室)	第7会場(1321番教室)
◆座長 丸橋 亘(茨城大農) 401 アカダイコンへのγ線照射によるアントシアニン含量の変化 ○辻耕治1・田村理1・大野友道1,2,3・久志野圭子1,3・村上啓寿1(1.阪大院薬学、2.(株)三栄源エフ・エフ・アイ有用植物研、3.三栄源エフ・エフ・アイ(株)研究所) 402 イネの低硝酸吸収突然変異体および硝酸還元酵素欠失突然変異体にみられる突然変異形質の不規則な遺伝 ○東明沙・荒木良一・長谷川博(滋賀県立大環境科学) 403 イネ胚乳中の澱粉枝作り酵素IIaに関する変異体の作出 ○佐藤 光1・波多江裕子1・西愛子1・竹本陽子1・上村裕二1・中村保典2・久保重也子2・桜井彩2・大坪研一3(1.九大農、2.秋田県立大生物資源科学、3.独法食総研) 404 ペチュニアW138系統において得られた花粉で発現するβ-1,3グルカンナーゼ遺伝子の<i>dTol1</i>挿入突然変異体 ○日下久美1・大津 Claudia 富美子1・石水綾2・長谷純宏2・久保山勉1(1.茨城大農、2.阪大・院理・化) 405 イオンビーム照射によるカーネーションの変異誘導と他の変異誘導処理との比較 ○新井正善1・阿部知子2(1.秋田農試生物工学、2.理研植物機能)	◆座長 米澤勝衛(京産大工) 501 巨大胚の水稲糯新品種「めばえもち」の育成 ○後藤明俊1・上原泰樹2・小林陽3・古賀義昭4・太田久稔2・清水博之5・三浦清之1・福井清美6・大槻寛1・小牧有三6・笹原英樹1・堀内久満7・奥野員敏8(1.中央農研・北陸せ、2.東北農研、3.茨城県土浦市在住、4.佐賀県小城市在住、5.北海道農研、6.鹿児島農試、7.福井農試、8.生物研) 502 極大粒の稲発酵粗飼料用新品種「クサユタカ」の育成 ○笹原英樹1・上原泰樹2・小林陽3・古賀義昭4・太田久稔2・清水博之5・三浦清之1・福井清美6・大槻寛1・小牧有三6・堀内久満7・奥野員敏8・藤田米一9・後藤明俊1(1.中央農研・北陸せ、2.作物研、3.茨城県土浦市在住、4.佐賀県小城市在住、5.北海道農研、6.鹿児島農試、7.福井農試、8.生物研、9.新潟県上越市在住) 503 餅の食味が優れる水稲糯新品種「もちむすめ」の育成 ○永野邦明1・松永和久1・滝沢浩幸1・早坂浩志2・薄木茂樹3・黒田倫子4・千葉文弥1・宮野法近5・佐々木都彦1・遠藤貴司6(1.宮城古川農試、2.宮城農園研、3.石巻地方事務所、4.宮城県庁、5.大河原農改、6.東北農研セ) 504 ハイブリッドコムギ作出のための実用的な日長感応性細胞質雄性不稔(PCMS)系統の育成(中間報告) ○村井耕二1・池口正二郎2・石川直幸3(1.福井県大生物資源、2.ホクレン農総研、3.近中四農研) 505 マカロニコムギの一品種LD222のアイソジニックライン ○渡部信義(岐阜大応)	◆座長 藤村達人(筑波大生命環境) 601 高等植物におけるカドミウム耐性・蓄積能の比較 ○吉原利一・庄子和博・後藤文之(電中研環境科学) 602 ヘビノネゴザカルスをを用いたカドミウムストレスにおける2価金属蓄積の動向 ○宮野義之1,2・後藤文之1・庄子和博1・島田浩章2・吉原利一1(1.我孫子電力中央研究所バイオテクノロジー領域、2.東京理科大生物工) 603 ヘビノネゴザの形質転換技術の確立 ○後藤文之1・宮野義之1,2・程島裕貴1,2・庄子和博1・島田浩章2 吉原利一1(1.電力中央研・環境科学、2.東京理科大・基礎工) 604 大豆種子への高カドミウム蓄積特性の遺伝的背景 ○羽鹿牧太1・高橋浩司1・杉山恵2・平賀勤1(1.作物研、2.農環研) 605 モモ葉における銅曝露に対する障害発生分子機構の解析 ○小林雅彦1 2・吉原利一1・島田浩章2・後藤文之1(1.電中研・環境科学、2.東京理科大基礎工)	◆座長 門脇光一(生物研) 701 ラオス中部ヴィエンチャン平野における栽培イネ(<i>O. sativa</i>)から野生イネ(<i>O. rufipogon</i> および <i>O. nivara</i>)への浸透交雑の実態 ○黒田洋輔1・佐藤洋一郎2・Chay Bounphanousay3・河野泰之4・田中耕司4(1.生物研、2.地球研、3.ラオス国農せ、4.京大CSEAS) 702 アジア栽培イネにおけるゲノムワイドな連鎖不平衡 ○江花薫子1・小島洋一朗2・福岡修一1・宇賀雄作1・河瀬真琴1・奥野員敏1(1.生物研、2.富山県農試) 703 イネ連鎖不平衡マッピングの応用III.第3染色体における品種群分化に関わる領域の特定 ○石川隆二1・土岐尚子1・千田峰生2・赤田辰治2・原田竹雄1・新聞 稔1(1.弘大農生、弘大遺伝子実験施設) 704 イネ白葉枯病菌フィリピンレースおよび日本レースを用いた接種検定に基づく抵抗性遺伝子<i>Xa11</i>のアジア在来品種における分布 ○遠藤界1・秋吉美穂2・小川紹文3(1.(社)国際環境研究協会、2.大成建設、3.宮崎大学農学部) 705 SSR多型からみたラオス中部のモチイネの遺伝的多様性 ○武藤千秋1・川野和昭2・谷坂隆俊3・佐藤洋一郎4(1.岐阜大連合農、2.鹿児島黎明館、3.京大、4.地球研)
◆座長 石井尊生(神戸大農) 406 <i>Brassica rapa</i> と <i>B. oleracea</i> の2組の同祖染色体を有する2n=20植物の特性 ○松澤健一・佐藤宏介・津田麻衣・金子幸雄・房 相佑・松澤康男(宇都宮大農) 407 <i>Moricandia arvensis</i> と <i>Brassica rapa</i> および <i>B. oleracea</i> 近交系との属間交雑親和性と雑種後代の作出 ○鄭 凡喜1・房 相佑1・新倉聡2・金子幸雄1・松澤康男1(1.宇都宮大農、2.(株)トーホク) 408 アブラナ科種間キメラに由来するCMSの葉緑体ゲノム解析 ○太田雄三1・服部玄2・千葉典子2・平田豊2(1.東京農工大・連大 2.東京農工大・国際環境農学) 409 <i>Erucastrum varium</i> と7種の二倍体・四倍体 <i>Brassica</i> 属植物との属間雑種 ○森川利信1・川瀬勝1・水谷宏美1・猪俣伸達2(1.大阪府大院農学生命、2.甲南女子大) 410 キャベツの雑種実生に認められた温度依存性雑種致死 ○宮崎沙頼・久保山勉・丸橋亘(茨城大学)	◆座長 新発田修治(北海道グリーンバイオ) 506 ビール大麦指定品種「スカイゴールド」の農業・品質特性 ○加藤常夫・長嶺敬・関和孝博・桑川晃伸・山口恵美子・大野かおり・渡辺浩久(栃木県農試栃木分場) 507 イタリアンライグラス育成品種「さちあおば」および育成系統「山系32号」の特性 ○水野和彦1・尾崎理英2・小橋健2・藤原健2・内山和宏1・荒川明1(1.畜草研、2.山口農試) 508 低糖・低澱粉で調理に向くサツマイモ新品種「九州147号」の育成 ○甲斐由美1・吉永優1・中澤芳則1・熊谷亨1・片山健二1・境哲文1・小巻克巳2・山川理1(1.九州沖縄農研、2.作物研) 509 観賞用サツマイモ新品種「KOP99211-1」 ○高畑廣浩1・吉永優1・熊谷亨1・山川理1・中澤芳則1・中山博貴1・田中勝1・甲斐由美1・石黒浩二1・片山健二1・境哲文1・岩城一考2・村上保之2・石原卓朗2・山田将弘2・宮崎潔2(1.九州沖縄農研、2.サントリーフラワーズ株式会社) 510 イチゴ新品種「美濃娘」の特性 ○猪原由久1・越川兼行1・安田雅晴1・長谷部健一2(1.岐阜農技研、2.岐阜普及企画室)	◆座長 野田和彦(岡山大資生研) 607 穂発芽性の異なる小麦品種における発芽特性と休眠性について ○松中仁・藤田雅也・蝶野真喜子・乙部千雅子(作物研究所) 608 コムギ種子休眠性QTL近傍領域におけるイネゲノムとの比較分析 ○席田淳史・小池倫也(北海道グリーンバイオ研究所) 609 コムギ品種「イワイノダイチ」の耐湿性の評価 ○吉田朋史・辻孝子・藤井潔(愛知農総試) 610 成熟後の降雨がコムギ子実容積重に及ぼす影響 ○藤井 潔・辻 孝子・吉田朋史(愛知農総試)	◆座長 河原太八(京大院農) 707 葉緑体ゲノム多型情報に基づくイネ栽培プロセスの検証 ○川上新一・福岡修一・西川智太郎・Duncan A. Vaughan・門脇光一(農業生物資源研究所) 708 葉緑体ゲノム多型解析による日本在来有色米の遺伝的起源の探索 川上新一・門脇光一(農業生物資源研究所) 709 バラ科の系統解析(II)スクラ属(<i>Prunus</i>)における葉緑体ゲノムの構造解析 片山寛則1・植松千代美2・高島幸2(1.神戸大食資源センター、2.大阪市大院理) 710 バラ科の系統解析(III)ナシ属(<i>Pyrus</i>)とスクラ属(<i>Prunus</i>)の葉緑体ゲノムの比較研究 ○片山寛則1・植松千代美2(1.神戸大食資源センター、2.大阪市大院理)

1日目(9月21日)午前			
9月21日	第1会場(190番教室)	第2会場(120番教室)	第3会場(281番教室)
	◆座長 最相大輔(岡山大学資生研)	◆座長 富田因則(鳥取大農)	◆座長 菅野 明(東北大院生命)
11:00	111 イネゲノム塩基配列の完全解説 ○藤澤雅樹・金森裕之・山形晴美・神谷梢・中村まり・宮内友子・水林達実・目黒文乃・林亜貴子・小林春美・中間裕子・小野望・伊藤幸恵・伊藤和江・阪口未雪・菊田有里・遠久美子・備藤毅人・藤塚奈穂子・栗田加奈子・町田佳代・山根弘子・酒井久美子・片桐敏・佐治章子・吉原里枝・唐澤渉・呉健忠・並木信和・片寄裕一・松本隆・佐々木卓治(生物研/STAFF・イネゲノム研究チーム)	211 サツマイモのアントシアニン合成制御遺伝子の単離 ○伊敷弘俊1・M. Soedarjo 2(1. 国際農研セ・沖縄、2. Res. Inst. Legume Tuber Crops, Indonesia)	311 熱帯産イネに分布する感光性遺伝子 <i>se-pat</i> の遺伝解析 萩原 W. 英悟・○上床修弘・佐野芳雄(北大院農)
11:12	112 イネ第2及び第9染色体のアノテーション進捗状況 ○並木信和、柴田未知恵、山本麻裕、伊藤幸代、桐根美佳、細川聡美、濱田昌雄、根岸真奈美、伊藤裕一、向井嘉之、松本隆、佐々木卓治(生物研/STAFF・イネゲノム研究チーム)	212 ダッチアイリスにおけるフラバノ3-ヒドロキシラーゼおよびカプフェ酸O-メチルトランスフェラーゼcDNAクローニングの単離と解析 ○吉原法子1・今山輝之1・水谷正子2・奥原宏明2・田中良和2・井野郁男3・藪谷 勤4(1. 鹿児島連大2. サントリー先進技術応用研、3. 宮崎大教文、4. 宮崎大農)	312 春播性遺伝子が小麦の生育・収量に及ぼす影響とその地域間差異 ○関昌子1・藤田雅也2・加藤謙司3・松中仁2・八田浩一1・乙部千雅子2・波多野哲也1・小田俊介1・河田尚之1(1. 九州沖縄農研、2. 作物研、3. 岡山大農)
11:24	113 Fiber-FISH法を用いたイネ第2、第7、第8染色体物理地図におけるギャップ領域の物理距離測定 ○水野浩志、中山繁樹、松本隆、佐々木卓治(生物研)	213 サツマイモのカルスで転移するLTR型レトロトランスポゾン <i>Rtsp-1</i> ファミリーの新規転移配列群の同定とその解析 ○山下裕樹1・田原 誠2・大山由美2・松嶋兼弘2(1. 岡山大学自然科学研究科、2. 岡山大学農学部)	313 シロイヌナズナ花かん関連遺伝子 <i>FT</i> のコムギにおける相同遺伝子 <i>WFT</i> の発現解析 ○五十里千尋・嶋田早苗・村井耕二(福井県大生物資源)
11:36	114 イネの少分げつ突然変異遺伝子 <i>rcn1</i> の詳細マッピング ○加藤清明1・安野泰裕子1・足利和紀1・高年礼逸朗2(1. 帯広畜産大、2. 北大院農)	214 キンギョソウトランスポゾンTam3に対する2つの転移抑制遺伝子の遺伝学的解析 ○桑原裕之・内山貴子・橋田慎之介・佐野芳雄・貴島祐治(北大院農)	314 コムギの幼穂形成時期における <i>FLORICAULA/LEAFY</i> ホモログ <i>WFL</i> の発現解析 ○漆川直希・村井耕二(福井県大生物資源)
11:48	115 イネ培養細胞における高再分化能関連遺伝子座領域の解析 ○小沢憲二郎1・川東広幸2(1. 北農研、2. 生資研)	215 キンギョソウトランスポゾンTam3の温度依存性転移に関わる宿主因子の探索 ○橋田慎之介・三上哲夫・貴島祐治(北大院農)	315 パンコムギ幼穂からの <i>rough sheath1</i> , <i>Rough Sheath2</i> オーソログの単離と解析 ○宅見薫雄1・森本涼子1・西岡恵美1・村井耕二2・中村千春1(1. 神戸大農、2. 福井県立大生物資源)

1日目(9月21日)午後			
9月21日	第1会場(190番教室)	第2会場(120番教室)	第4会場(1231番教室)
	シンポジウムI	シンポジウムII	シンポジウムIII
13:00 ↓	遺伝子組換え植物に関する取り扱いルール及び社会受容の世界的動向と今後の取り組み	イネの応用研究は誰が担うのか	植物栄養の育種への利用 —窒素栄養の遺伝・育種学—
17:00	主任：渡邊和男(筑波大学) 田部井豊(農業生物資源研) 司会：藤村達人(筑波大学)	主任：矢野昌裕(農業生物資源研) 松岡 信(名古屋大学)	主任：長谷川博(滋賀県立大学環境科学部) 佐藤雅志(東北大学生命科学研究科)
	1 日本における遺伝子組換え農作物の社会受容の現状と「共存」に向けて 田部井豊(農業生物資源研究所)	1 はじめに 矢野昌裕(農業生物資源研究所)	1 はじめに 長谷川博(滋賀県立大学環境科学部) 佐藤雅志(東北大学大学院生命科学研究科)
	2 カルタヘナバイオセーフティー議定書発効後の国際動向とリスクコミュニケーションのあり方 渡邊和男(筑波大学遺伝子実験センター)	2 これからのイネ研究はどうあるべきか？ —若手研究者によるイネ10年研究計画ワーキンググループでの議論をもとに— 井澤 毅(農業生物資源研究所)	2 イネにおける窒素代謝のメカニズム 山谷知行 (東北大学・理研植物科学研究センター)
	3 総合討論(パネルディスカッション) パネリスト 小泉 望(奈良先端大学院大学) 佐藤 裕(北海道農業研究センター) 森 真理(滋賀県農業総合センター) 高畑義人(岩手大学農学部) 橋本昭栄(国際生命科学協会) 消費者団体関係者	3 育種研究にゲノムリソースは必要か？ 田畑哲之(かずさDNA研究所)	3 硝酸吸収と硝酸還元生化学・分子生物学 白石斉聖、杉本敏男、王子善清 (神戸大学農学部)
		4 育種におけるイネゲノム研究成果の活用現状と問題点 平林秀介(作物研究所)	4 マメ科植物の窒素代謝 大山卓爾1、大竹憲邦1、末吉邦1、藤掛浩行1、佐藤孝2、Tewari, KI、高橋能彦1(1 新潟大学農学部、2 秋田県立大学生物資源科学部)
		5 基礎的な研究成果を育種に役立てる 福岡修一(農業生物資源研究所)	5 イネにおける窒素利用に関わる形質のQTL解析 佐藤雅志1、小原実広1、山谷知行2 (1 東北大学、2 東北大学・理研植物科学研究センター)
		6 育種における実践と基礎研究の狭間 武田和義(岡山大学資源生物学研究所)	6 チャの窒素吸収同化能力の向上を目標とした育種の試み 谷口郁也・田中順一(野菜茶業研究所・枕崎)
		7 総合討論(パネルディスカッション) 松岡 信(名古屋大学)	7 作物育種目標としての窒素代謝 長谷川博(滋賀県立大学環境科学部)
			8 総合討論 長谷川博(滋賀県立大学環境科学部)

1日目(9月21日)午前			
第4会場(1231番教室)	第5会場(1211番教室)	第6会場(1221番教室)	第7会場(1321番教室)
◆座長 森川利信(大阪府大院農) 411 Q染色体特異的DNAマーカーは、Q染色体がタバコ属種間雑種(<i>Nicotiana tabacum</i> × <i>N. suaveolens</i>)に認められる致死性を制御していることを証明した ○手塚孝弘・丸橋亘(茨城大農) 412 <i>Nicotiana tabacum</i> と <i>Nicotiana glauca</i> の種間交雑において受精後にあらわれる障害 ○赤坂夢・堀井学・丸橋亘(茨城大農) 413 高濃度サイトカイニンBAPがタバコ雑種細胞(<i>Nicotiana glauca</i> × <i>N. tabacum</i>)の致死性を抑制する ○小堀智史・増田優・丸橋亘(茨城大農) 414 フェストロリウム雑種の薬培養後代における特性 ○山田敏彦・郭仰東(北海道農研) 415 野生イネ <i>Oryza rufipogon</i> および栽培イネ <i>O. sativa</i> Nipponbare交配由来のBC2F4集団を用いた諸形質に関するQTL解析 ○山下晃弘1・内田直次2・上島信志2・石井尊生2(1.神大自然科学、2.神大農)	◆座長 石井卓朗(茨城生工研) 511 イネの玄米色と低温苗立性の関係について 新発田修治(北海道グリーンバイオ) 512 イネいもち病真性抵抗性遺伝子 <i>Piz</i> と連鎖するSNPマーカーを用いた <i>Piz</i> 保有系統の育成 II.B2F1世代の形質 ○橋本憲明1,4、大源正明1、林敬子2、芦川育夫2,3、高原美規4、山元皓二4(1.新潟農総研、2.中央農業総合研究セ、3.新潟大学、4.長岡技術科学大学) 513 穂発芽性難水稻橋系統の効率的な選抜手法 ○中場勝・渡部幸一郎・結城和博・佐藤久実・水戸部昌樹(山形農試庄内支場) 514 イネ育種研究の調査における標準サイズの分布によらない簡便な決定手法 ○伊勢一男1・孫有泉2・葉昌榮2・戴陸園2(1.国際農研センター、2.中国雲南省農科院) 515 ナス単為結果性の評価法 ○齊藤猛雄・宮武宏治・斎藤新・山田朋宏・福岡浩之(野菜茶研)	◆座長 藤井 潔(愛知農総試) 611 人工気象室を利用したダイズ耐冷性のQTL解析 ○船附秀行、川口健太郎、松葉修一、佐藤裕、石本政男(北海道農研) 612 近縁野生種を用いたコムギの越冬性の改良の可能性 ○入来規雄・西尾善太・川上顕・斎藤浩二・黒木慎(北海道農研) 613 ハードニング過程におけるコムギELIPの発現調節 ○下坂悦生1・半田裕一2(1.北海道農研、2.生物研) 614 イネ幼苗期低温耐性のQTL解析 ○Aloka Lanka Ranawake1、森直樹1、青木法明2、梅本貴之2、吉田晋弥3、中村千春1(1.神戸大農、2.作物研、3.兵庫農技総セ) 615 北海PL9の穂ばらみ期耐冷性に関する染色体領域の同定 ○黒木慎1・斎藤浩二1・安東郁男2・清水博之1・佐藤裕1・入来規雄1(1.北海道農研、2.作物研)	◆座長 大田正次(福井県大) 711 葉緑体DNA非コード領域における挿入・欠失およびSSRデータのコムギ・エギロプス属系統解析への利用について ○山根京子・河原太八(京大院農学) 712 葉緑体DNA塩基配列多型からみたコムギ・エギロプス属における倍数性種の多元的起源について ○河原太八・山根京子(京大院農学) 713 DNAマーカーから見たエギロプス属ポリアイデス節における4倍性種の多起源性について ○藤田紗代1・笹沼恒男1・河原太八2・笹隈哲夫1(1.横浜市大木原生研、2.京大院農学) 714 <i>Triticum</i> 属と <i>Aegilops</i> 属の種の <i>DFR</i> 遺伝子変異からみた系統進化 ○大西成人・氷見英子・野田和彦(岡山大学資生研) 715 テオシントの遺伝的多様性と集団構造 ○福永健二1,2・Jason Hill3・Yves Vigouroux1,4・松岡由浩1,5・Jesus Sanchez G.6・Kejun Liu7,8・Edward S. Buckler9・John Doebley1(1.ウィスコンシン大学マディソン校US、2.現日文研3.ミネソタ州立大学US、4.現IRDモンペリエフランス、5.現福井県立大学生物資源、6.グアダハラ大学メキシコ7.ノースカロライナ州立大学US、8.現統計科学研究所US、9.コーネル大学US)

1日目(9月21日)午後
第5会場(1211番教室)
シンポジウムⅣ 栽培植物の起源は一元的吗多元的か？ ー最近の研究成果から進化を考えるー 主任：河原太八(京都大学) 1 はじめに 河原太八(京都大学) 2 トウモロコシは、いつ、どこで、何回、栽培化されたか？ー植物遺伝学の立場からー 松岡由浩(福井県立大学) 3 二粒系コムギの栽培化と普通系コムギの進化 森直樹(神戸大学) 4 イネの起源とその日本への伝播 佐藤洋一郎(地球研究所) 5 ダイズの起源と進化 阿部 純(北海道大学) 6 アズキの起源と進化 山口裕文(大阪府立大学) 7 総合討論 山口裕文(大阪府立大学) 河原太八(京都大学)

2日目(9月22日)午前			
9月22日	第1会場(190番教室)	第2会場(120番教室)	第3会場(281番教室)
	◆座長 貴島祐治(北大院農)	◆座長 荻原保成(京都府大)	◆座長 渡辺正夫(岩手大農)
9:00	116 イネのDNAトランスポゾン, <i>nDart</i> の転移を制御する自律性因子の座乗染色体について ○前川雅彦1・榎根一夫2・飯田滋2(1.岡山大学資生研、2.基生研)	216 ヤーコン(<i>Smallanthus sonchifolius</i>)におけるフラクトオリゴ糖生成酵素、1-FFTとFFaseの遺伝子単離 ○永田裕加里1・砂山陽亮2・谷口美香1・井上栄一3・安西弘行1(1.茨城大遺伝子、2.株式会社なとり、3.茨城大農)	316 サヤダイコン“バッキフッド”の種子成熟にともなうABA合成と低温発芽能の獲得 田中裕子・飯岡恵里香・西浦愛・立石亮・窪田聡・穴戸理恵子・○野村和成・池橋宏(日本大生物資源)
9:12	117 ガンマ線照射はイネトランスポゾン <i>Ping</i> の転移を誘発する ○森田美佳・内藤健・奥本裕・中崎鉄也・谷坂隆俊(京大院農)	217 ダイコンのファイトレメディエーション関連遺伝子の単離、I.PCS遺伝子 ○西塚順子・寺地徹(京産大工)	317 天候不順条件下での国内水稲品種の自然交雑 ○矢頭治・青木秀之(中央農研・北陸研究センター)
9:24	118 レトロトランスポゾンを利用したサツマイモ加工品の原料品種判定 ○大江夏子1・田原 誠2・山下裕樹1・丸谷 優1・蔵之内利和3(1.岡大自然科学、2.岡大農、3.作物研)	218 オグラ型雄性不稔に対するハツカダイコンの稔性回復遺伝子座の構造解析 ○安本景太・長島隆晴・辻村真衣・吉見麻衣子・山岸博・寺地徹(京産大工)	318 自家受粉による3倍体センノウの後代の獲得 ○神戸敏成・中田政司(富山県中央植物園)
9:36	119 イネ白葉枯病抵抗性突然変異系統の抵抗性遺伝子のマッピング ○川原大輔1・田浦悟2・杉田佑紀1・原崎弥生3・高見直美3・河邊弘太郎2・佐藤宗治1(1.鹿大院農学、2.鹿大生科研センター、3.鹿大農)	219 <i>Ae. mutica</i> 細胞質を持つ細胞質置換コムギのミトコンドリア遺伝子転写産物の解析 ○堀川明彦・寺地徹(京産大工)	319 リンゴ・ナシ離ズいにおけるPro-richタンパク質の解析 ○佐々英徳・平野久(横浜市大木原生研)
9:48	120 イネの種子寿命に関わる遺伝子 <i>qLG-9</i> の連鎖解析 ○佐々木和浩1・竹内善信2・三浦清之3・安藤露4・矢野昌裕5・佐藤雅志1(1.東北大院生命、2.作物研、3.中央農研、4.農林水産先端研、5.生物研)	220 核ゲノムの再編成によりミトコンドリア <i>rp127</i> 遺伝子はプロモーター配列を獲得した ○上田実1,2・有村慎一2・堤伸浩2・門脇光一1(1.生物研、2.東大院農学生命科学)	320 サツマイモ野生種の <i>S</i> 遺伝子座領域における顕特異的発現遺伝子の解析 ○平嶋奈津子・内山美奈・榎原洋子・Rubens Norio Tomita・神山康夫(三重大生資)
10:00	◆座長 前川雅彦(岡山大学資生研) 121 イネ第7染色体上で見出された新たな穂ばらみ期耐冷性関連QTL ○千葉文弥1・遠藤貴司2・佐々木都彦1・永野邦明1・上田忠正3・矢野昌裕3(1.宮城県古川農試、2.東北農研、3.生物研)	◆座長 寺地 徹(京産大工) 221 DNA複製開始領域の単離へのレーザーマイクログレイセクションの応用 ○村田夏子・野村港二(筑波大院生命環境)	321 サツマイモ野生種の <i>S</i> 遺伝子座領域における柱頭特異的発現遺伝子の解析 ○内山美奈・平嶋奈津子・榎原洋子・Rubens Norio Tomita・神山康夫(三重大生資)
10:12	122 イネ雑種弱勢遺伝子座 <i>Hwc1</i> の同定 ○一谷勝之1・松本雄一2・青木美里2・丸橋亘2・久保山勉2(1.鹿児島大農、2.茨城大農)	222 ESTにみられる新規トランスポゾン <i>Revolver</i> 様因子 ○富田因則(鳥取大農)	◆座長 佐々英徳(横浜市大木原生研) 322 アブラナ科自家不和合性class II <i>S</i> 系統における <i>S</i> 遺伝子間領域のゲノム構造の比較 ○柿崎智博1・高田美信1・高畑義人1・鈴木剛2・柴博史3・高山誠司3・磯貝彩3・渡辺正夫1(1.岩手大農、2.大阪教育大、3.奈良先端大バイオ)
10:24	123 Analysis of <i>Oryza</i> interspecific CC genome population Paulino Sanchez, Akito Kaga, Gilda Miranda-Jonson, Takehisa Isemura, Norihiko Tomooka, Duncan Vaughan (NIAS)	223 パンコムギにおける <i>TaHd1</i> 遺伝子近傍領域の3種ゲノム間での構造比較解析 ○川浦香奈子1・小島俊雄2・荻原保成1,3(1.京都府大、2.理研GSC、3.京都農資セ)	323 <i>Brassica</i> と <i>Raphanus</i> における類似 <i>S</i> ハプロタイプの認識特異性の解析 ○佐藤豊・岡本俊介・西尾剛(東北大院農)
10:36	124 ベレニアルライグラス(<i>Lolium perenne</i> L.)におけるフルクタン合成に関与する遺伝子のマッピングおよびフルクタン含有量のQTL解析 ○久野裕1・金澤章1・小林創平2・吉田みどり2・喜多村啓介1・山田敏彦2(1.北大院農、2.北海道農研)	224 コムギにおける播性の進化と多様化— <i>Vrn-A1</i> 座における塩基配列多型の地理的変異 ○西田英隆・大村泰之・明石由香利・吉野照道・加藤鎌司(岡山大農)	324 <i>Brassica rapa</i> 種内において <i>SRK</i> 、 <i>SLG</i> が類似する <i>S</i> ハプロタイプのゲノム構造の比較 ○藤本龍・岡本俊介・西尾剛(東北大院農)
10:48	125 アポミキシス遺伝子の単離に向けたギニアグラスの連鎖解析 ○高原学1・蝦名真澄2・霍田真一3・稲福政史1・高清正1・小林真1・中川仁4(1.畜産草地研、2.沖縄畜試、3.宮崎大農、4.農業生物資源研)	225 コムギA, B, Dゲノムにある粉色に影響する <i>SSPPO</i> 遺伝子の構造変異 ○水見英子・野田和彦(岡山大学資生研)	325 <i>Brassica rapa</i> における自家不和合性程度に影響を及ぼす要因 ○堀崎敦史・新倉聡((株)トーホク)

2日目(9月22日)午前			
第4会場(1231番教室)	第5会場(1211番教室)	第6会場(1221番教室)	第7会場(1321番教室)
◆座長 小松 晃(作物研)	◆座長 大澤 良(筑波大生命環境)	◆座長 福岡修一(生物研)	◆座長 加藤鎌司(岡山大農)
416 <i>Pelargonium</i> 属 <i>Pelargonium</i> 節と <i>Hoarea</i> 節との節間交雑胚珠からのシュート再生 ○柿原 文香・高市 茜・加藤正弘(愛媛大・農)	516 MBS (marker-based selection)の適用による世代促進集団育種法の効率化 ○石井卓朗1、米澤勝衛2 (1. 茨城生工研、2. 京都産大工)	616 2倍体サツマイモ近縁野生種 <i>Ipomoea trifida</i> の交雑系統におけるサツマイモネコブセンチュウ抵抗性の系統間差異 ○小宮山公1・佐野善一2・宮本辰徳1・松田靖1・村田達郎1 (1.九州東海大農、2.九州沖縄農業研究センター)	716 自生地において見られた <i>Aegilops</i> 属数種における種子休眠の二型性 ○大田正次1・Hakan Ozkan2 (1.福井県大生物資源、2.トルコ・チュクロバ大学)
417 ブルーベリーの種間雑種および倍数体の作出 ○宮下千枝子1・石川隆二2・三位正洋3 (1.東京農試、2.農工大農、3.千葉大園芸)	517 MBSの適用による半数体育種法の効率化 ○米澤勝衛1、石井卓朗2 (1. 京都産大工、2. 茨城生工研)	617 Genetic analysis of a source of new bruchid resistances in the <i>Vigna angularis</i> complex. ○Prakit Sontai1・Akito Kaga2・Norihiro Tomooka2・Bubpa Chaiteng2・Takehisa Isemura2・Peerasak Srineves1・Duncan A. Vaughan2 (1.Kasesart U., 2.NIAS)	717 ウィグルおよびアフガニスタンのコムギ在来品種系統の遺伝的多様性・.出穂性と形態形質 ○笹原哲夫1・笹沼恒男1・井元知子1・宮崎羽奈子1・寺沢洋平1・河原太八2 (1.横浜市大・木原生研、2.京大農農)
418 <i>Primula sieboldii</i> (SS)と <i>P. obconica</i> (OO)の2基3倍体種間雑種(SOO)の <i>P. obconica</i> への戻し交配におけるBC1世代の作出と特性 ○洞口陽彦1・林麻衣1・加藤淳太郎2・三位正洋1 (1. 千葉大自然科学、2. 愛知教育大生物)	518 表計算ソフト・データグリッドによる分散農業試験データの仮想共有 ○二宮正士・山川敦之・岩田洋佳・法隆大輔(中央農研)	618 集団幼苗検定法により選抜された抵抗性イネ品種をもちいたトビロウナカ抗生作用のQTL解析 園田智広・吉村淳・○安井秀(九大院農)	718 モロッコ産未同定の <i>Aegilops</i> 属四倍体における細胞遺伝学的分化と地理的分布 ○坂口梓織・大田正次(福井県大生物資源)
419 マイクロサテライトから見た矮性近交系エンバクの遺伝変異 ○栗山鈴・森川利信(大阪府大院農学生命科学)	519 中国東北部ダイズ遺伝資源のデータベース ○岡部昭典1・山中直樹2・故足立大山2・楊春明3・楊光宇3・楊振宇3・馬曉萍3・蔡雷3・宋志峰3 (1. 近中四農研、2. 国際農研、3. 中国吉林省農科院大豆研)	619 韓国のオオムギ矮縮ウイルス(BaYMV)系統の判別品種に対する反応 ○八田浩一1・Jong Chul Park2・関昌子1・小田俊介1・河田尚之1・Jung Hyum Nam3・田谷省三4 (1. 九州沖縄農研、2. Honan Agr. Res. Inst. KOREA、3. Natl. Inst. Crop Sci. KOREA、4. 作物研)	719 アジアのバンコムギにおける低分子量グルテニンの多様性 ○田中裕之・豊田昌子・辻本 壽(鳥取大農)
420 近赤外およびフーリエ変換赤外分光法を用いた植物ゲノムDNAの遺伝子型の判別 ○江村耕司1、山中慎介2、磯田博子2、渡邊和男2 (1. 筑波大バイオシステム、2. 筑波大生命環境)	520 イネ品種特性データベースの構築 ○太田久稔・安東都男・井辺時雄(作物研)	620 アラビドプシスのカブモザイクウイルス感染時に全身すじエソを引き起こす遺伝子 <i>TuNI</i> の精密マッピング 金子洋平、越前谷一成、○大飼剛、増田 稔(北大院農)	720 オオムギにおける新しい小穂非脱落性遺伝子について ○小松田隆夫・Senthil Natesan(生物研)
◆座長 石本政男(北農研)	◆座長 井辺時雄(作物研)	◆座長 高野哲夫(東大アジアセ)	◆座長 福岡浩之(野茶研)
421 イネにおけるゲノミックDNAランダムーカーを用いたソマクローナル変異の解析 ○山田誠1、盧忠恩1、千田峰生2、石川隆二1、赤田辰治2、原田竹雄1、新聞稔1 (1. 弘前大農学生命、2. 弘前大遺伝子実験施設)	521 色彩画像解析によるニンジンカロテン含量の推定 ○安井翔1・高橋正樹1・橋本篤1・亀岡孝治1・川頭洋一2・杉山慶太2 (1. 三重大生物資源、2. 農研機構野菜茶研)	621 北部ベトナム産イネ品種におけるイネ白葉枯病抵抗性遺伝子の分布 ○杉田佑紀1・田浦信2・川原大輔1・河邊弘太郎2・P.H.Ton3・B.T.Thuy3・瀬古秀文3・佐藤宗治1 (1. 鹿大院農学、2. 鹿大生科研センター、3. ハノイ農業大学)	721 アズキSSRマーカーを用いたアズキ亜属の解析 ○友岡憲彦・Bubpa Chaiteng・加賀秋人・伊勢村武久・黒田洋輔・Gilda Miranda-Jonson・Paulino Sanchez・Duncan Vaughan(生物研)
422 イネ形質転換(アグロ感染法)における除菌用抗生物質の検討 ○加藤憲1、保坂社彦1、三位正洋2、安西弘行1 (1. 茨城大遺伝子、2. 千葉大園芸)	522 コケ原糸体の成長解析による汚染物質の評価 ○横山次郎・高原美規・山元皓二(長岡技大工学)	622 陸稲栽培に由来するQTL領域のいもち病抵抗性作用力について ○坂 紀邦1・福岡修一2・寺島竹彦1・工藤 悟1 (1. 愛知農総試山間、2. 生物研)	722 Intra-population diversity in northern Thai <i>Vigna</i> based on SSR markers ○Duncan Vaughan1, Worapa Shilak2, Bupa Chaiteng1, Aree Waranyuwat2, Akito Kaga1, Norihiro Tomooka1 (1. NIAS, 2. Suranaree U. Tech., Thailand)
423 マーガレットの花弁粗抽出物でのアントシアニンとアントキサンチンのHPLC分析と再分化条件の検討 ○井本朋美・林桂子・高原美規・山元皓二(長岡技大工)	523 レイホウ×山田錦由来半数体倍加系統の心白標準画像を用いた画像解析による分類 ○奥野聖1・高柳充寛1・吉田晋弥2・池上勝2・高原美規1・山元皓二1 (1. 長岡技術科学大学、2. 兵庫県立農林水産技術総合センター)	623 日本陸稲品種のいもち病耐性抵抗性に関する新たなQTL ○福岡修一1・Pham V.C.2・坂 紀邦3・工藤 悟3・奥野員敏1 (1. 生物研、2. ハノイ農業大、3. 愛知農総試山間)	723 SSRマーカーを用いたアズキ栽培一雑草-野生複合の解析、4. アズキ栽培種の遺伝的多様性 ○加賀秋人・Gilda Miranda-Jonson・伊勢村武久・友岡憲彦・Duncan A. Vaughan(生物研)
424 ウイスカ直接導入法による改変OAS1遺伝子導入形質転換イネの特性解析 ○小松 晃1,3・長谷川久和2・大武美樹3・寺川輝彦2・若狭 暁1,3 (1. 農研機構・作物研、2. 北興化学開発研、3. CREST)	524 ホモロジー検索及びアノテーション抽出ソフトウェア“AQUAS”の開発 ○米丸淳一・中村俊樹(東北農研)	624 GFPを用いた病害抵抗性に関する3遺伝子 <i>OsRac1</i> , <i>PBZ1</i> , <i>D9</i> の発現解析。ーシング伝達経路の改変による病害抵抗性イネ品種作出を目指してー ○森野和子1、大槻 寛1、岩田道顕2、梅村賢司2、川崎努3、島本功3、丹羽康夫4、川田元滋1 (1. 中央農研・北陸、2. 明治製菓株式会社・生物産業研究所、3. 奈良先端大・バイオ、4. 静岡県立大・大学院・生活健康科学)	724 Morphological analysis of a <i>Vigna mungo</i> gigantism mutant. ○Chaiteng B., N. Tomooka., A. Kaga, T. Isemura, Y. Kuroda, G. Miranda-Jonson, P. Sanchez and D. A. Vaughan (NIAS)
425 キメラプラストを用いたイネALSの部位特異的1塩基置換への薬培養由来カルスの利用 ○奥崎文子・鳥山欽哉(東北大院農学)	525 Ant Colony Optimizationアルゴリズムに基づく連鎖地図作成ソフトウェア AntMapの開発 ○岩田洋佳・二宮正士(中央農研)	625 フラジェリン遺伝子導入による病害抵抗性植物の作出 ○高倉由衣1,2、石田祐二1,2、堤史樹1,3、黒谷賢一1,4、宇佐美悟1,2、森見植4、磯貝彰4、今関英雅1 (1. オリノバ、2. JT植物イノベーションセンター、3. JTたばこ事業本部、4. 奈良先端科学技術大)	725 ISSRマーカーを利用したバレイショの品種識別 ○大林憲吾1・小村国則1・保坂和良2 (1. 長崎県総合農林試験場、2. 神戸大食資源センター)

2日目(9月22日)午前			
9月22日	第1会場(190番教室)	第2会場(120番教室)	第3会場(281番教室)
	◆座長 中崎鉄也(九大院農)	◆座長 水見英子(岡山大資牛研)	◆座長 西尾 剛(東北大院農)
11:00	126 FISHならびにCHIAS3を用いたミヤコグサ定量的バキテン染色体地図の構築 ○石丸彰子1・田畑哲之2・佐藤修正2・林誠3・橋本雅子3・福井希一3・近江戸伸子1(1.神戸大院総合人間、2.かずさDNA研、3.阪大院工学)	226 自殖性普通ソバにおけるアレルゲンタンパク質Fage 2をコードするcDNAの単離と発現 ○吉岡宏幸・安枝奈津子・足立泰二(大阪府大農学生命科学)	326 アブラナ科野菜F1採種における応用生態学的研究Ⅳ. 種子収量に影響を及ぼす要因の探索 ○石塚大悟1・堀崎敦史2・新倉聡2・平英彰1・小沼明弘3(1.新潟大・院・自然科学、2.(株)トーホク、3.農環研)
11:12	127 ダイズ7Sグロブリンサブユニットの蓄積を制御するCgdef 遺伝子のマッピング ○林 正紀1・喜多村啓介2・原田久也1(1.千葉大園芸、2.北大院農)	227 異なる発現パターンを示すイネの高親和性硝酸トランスポーター遺伝子 ○荒木良一・長谷川博(滋賀県立大院 環境科学)	327 アブラナ科野菜F1採種における応用生態学的研究Ⅴ. 送粉昆虫の訪花選好性の時間的変化 石塚大悟1・堀崎敦史2・新倉聡2・小沼明弘3(1.新潟大・院・自然科学、2.(株)トーホク、3.農環研)
11:24	128 ダイズモザイクウイルス抵抗性遺伝子に連鎖するDNAマーカーの開発 ○濱田亜紀子1・高松光夫2・山田直弘2・矢ヶ崎和弘2・原田久也1(1.千葉大院自然科学、2.長野県中信農試)	228 イネ種子貯蔵タンパク質遺伝子の発現に関与する転写因子RISBZ1およびRPBFの発現抑制株の解析 ○山本将之、小野寺康之、高岩文雄(生物研)	328 Intraspecific variation of UV-absorbing area as a nectar guide in <i>Brassica rapa</i> L. ○Syafaruddin1, Y. Yoshioka1, S. Yamaguchi1, A. Horisaki2, S. Niikura2 and R. Ohsawa1(1. Grad. Sch. Life. Envi. Sci., U. Tsukuba, 2. Tohoku Seed Co.)
11:36	129 国内産アズキ栽培種と野生種との雑種集団を用いたSSRマーカー連鎖地図の作成 ○伊勢村武久・加賀秋人・友岡憲彦・Duncan A. Vaughan(生物研)	229 イネ種子貯蔵タンパク質遺伝子の発現に関与するRPBF 遺伝子の種子特異的発現制御領域の解析 ○東野 悟1,2・原田 久也2・木庭 卓人2・高岩文雄1(1.生物研、2.千葉大院自然科学)	329 <i>Brassica rapa</i> L.の花弁におけるフラボノイドの遺伝変異 ○長谷暢一1・堀崎敦史1、小沼明弘2、大澤良3、松浦誠司1、新倉聡1(1. ㈱トーホク、2. 農環研、3. 筑波大院生命環境科学)
11:48	130 ユリ属園芸品種におけるCAPSマーカーの開発 ○千葉直樹・足立陽子・中村茂雄(宮城県農業・園芸総合研究所)	230 イネ無胚乳変異体の種子発達中における遺伝子発現プロファイルの解析 ○近藤博明1・大岡久子2,3・山田仁美3・佐藤浩二3・高原美規1・菊池尚志3・山元皓二1(1.長岡技術科学大学・工、2.久留米高専、3.農業生物資源研究所)	330 ダイコンの花器形態に関するダイアレル分析 ○小林喜和1・堀崎敦史2・新倉聡2・大澤良1(1. 筑波大院生命環境科学、2. ㈱トーホク)

2日目(9月22日)午後			
9月22日	第1会場(190番教室)	第2会場(120番教室)	第3会場(281番教室)
	◆座長 布目 司(野茶研)	◆座長 宅見薫雄(神戸大農)	◆座長 北野英巳(名大生物機能)
13:00	131 SSRマーカーを用いたトウガラシ連鎖地図の作成 ○南山泰宏1・津呂正人1・稲葉幸司1・平井正志1,2(1.京都農資セ、2.京都府大院農)	231 イネmRNA 3'-UTRの植物ホルモン処理における多型 ○白土典広1・佐藤浩二2・菊池尚志2・高原美規1・山元皓二1(1.長岡技大,2.生物研)	331 イネゲノムに見いだされた遺伝子発現の不安定性を抑制する可能性部位の選択 ○貴島祐治1・小林聡1・長野宏則1・高野敏行2・佐野芳雄1(1.北大院農学、2.遺伝研)
13:12	132 トウガラシにおける青枯れ病抵抗性に関する遺伝解析 ○津呂正人1・南山泰宏1・平井正志1,2(1.京都農資セ、2.京都府大院農)	232 ナタネ(<i>Brassica napus</i>)小胞子由来胚特異的遺伝子のシロイヌナズナ(<i>Arabidopsis thaliana</i>)相同遺伝子に関するpromoter解析 ○津和本亮1・福岡浩之2・渡辺正夫1・高畑義人1(1.岩手大農、2.野茶研)	332 イネ種間雑種不稔遺伝子 <i>S1</i> 候補領域における配列比較と発現解析 ○西本大祐1・堀米綾子2・大西一光1・長野宏則1・貴島祐治1・佐野芳雄1(1.北大院農、2.東大農学生命科学)
13:24	133 飼料用カブGerla R(<i>Brassica rapa</i>)に由来する新しい根こぶ病抵抗性遺伝子座の解析 ○原正生1・津呂正人2・久保中央1,2・塚田元尚3・平井正志1,2(1.京都府大院農、2.京都農資セ、3.長野野菜花き試)	233 <i>Brassica napus</i> 小胞子由来胚の乾燥耐性獲得に関係する遺伝子の探索 ○晴山聖一・津和本亮・渡辺正夫・高畑義人(岩手大農)	333 栽培イネ(<i>Oryza sativa</i> Nipponbare)の遺伝的背景における野生イネ(<i>O. rufipogon</i>)由来の脱粒性遺伝子の作用について ○二村直人1・石川亮2・上島脩志3・石井尊生3(1. 神大院自然科学、2. 奈良先端大、3. 神大農)
13:36	134 ハクサイ根こぶ病抵抗性遺伝子座(<i>Crr1</i> と <i>Crr2</i>)の解析 ○松元哲1・近藤正敏1・藤村みゆき1・國久美由紀1・吹野伸子1・諏訪部圭太1・平井正志2(1.野茶研、2.京都府大院農)	234 HiCEP法による登熟期コムギ種子における網羅的遺伝子発現解析 ○菊池洋介1・木下眞喜子2・衣笠公博2・内田浩二2・早川克志1・本井博文1(1.日清製粉グループ本社、2.オリエンタル酵母工業)	334 第3染色体上に存在する野生イネ由来の脱粒性遺伝子 ○紺谷学・高木恭子・大西一光・佐野芳雄(北大院農)
13:48	135 メロンSSRマーカーによるウリ科植物の遺伝的多様性の評価 ○吹野伸子・國久美由紀・松元 哲(野菜茶研)	235 イネにおける乾燥・高温ストレス誘導性転写因子遺伝子の解析 ○白戸陽子・島山欽哉・岸谷幸枝(東北大院農)	◆座長 佐藤 光(九大院農) 335 一年生野生イネに見い出される半矮性遺伝子 ○堀内優貴・大西一光・佐野芳雄(北大院農)

2日目(9月22日) 午前			
第4会場 (1231番教室)	第5会場 (1211番教室)	第6会場 (1221番教室)	第7会場 (1321番教室)
◆座長 千田峰生(弘前大遺伝子) 426 不定胚を用いた形質転換系に適したダイズ系統の育成と組換え体の作出 ○喜多洋一・北山雅彦1・高橋将一 2・若狭 暁3・4・石本政男4・5 (1.愛媛女子短大、2.九州農研、3.作物研、4.CREST、5.北農研) 427 OASA1Dの導入による高トリプトファン含有ダイズの作出 ○石本政男1,2・中本有美2・若狭 暁2,3 (1.北農研、2.CREST、3.作物研) 428 転写後型ジーンサイレンシング(PTGS)を示す緑色蛍光タンパク質(GFP)遺伝子導入ダイズの解析 ○山岸紀子1・古谷規行2,3・静川幸明3・吉田泰二1・藤郷誠1・日高操1(1.東北農研、2.京都農資セ、3.現京都府農林水産部) 429 ダイズわい化ウイルス外被タンパク質遺伝子を導入したダイズ形質転換体の解析 ○藤郷誠1・古谷規行2,3・山岸紀子1・静川幸明2・日高操1・吉田泰二1(1.東北農研セ、2.京都農資セ、3.現京都府農林水産部) 430 ミラフィオリレタスウイルスの外被タンパク質遺伝子を導入したレタスの解析 ○川頭洋一・富士山龍伊・福田真知子・杉山慶太(野菜茶研)	◆座長 小松田隆夫(生物研) 526 小麦品種'U24'の閉花受粉性の遺伝様式 ○藤田雅也1・渡辺好昭1・本多一郎2・江口久夫1・松中仁1・乙部(桐淵)千雅子1(1.(独)農研機構・作物研究所、2.野菜茶業研究所) 527 二粒系コムギ(<i>T. dicoccoides</i> および <i>T. dicoccum</i>)に生じたWx-A1変異の特徴 ○齊藤美香・石川吾郎・中村俊樹(東北農研セ) 528 コムギ系統「谷系A6099」を片親とした倍加半数体集団より得られたモチ系統におけるWx-D1座近傍の欠失変異 ○石川吾郎1・齊藤美香1・乙部(桐淵)千雅子2・柳澤貴司3・中村俊樹1(1.東北農研、2.作物研、3.近中四農研) 529 日本産オオムギ品種の早熟性の遺伝分析。1.二条オオムギ品種「ミサトゴールデン」の純粋早熟性の遺伝 ○塔野岡卓司、吉岡藤治(農研機構・作物研) 530 キャベツの結球性に関する遺伝分析。VIII.春蒔き並びに夏蒔きの2作型間における結球安定性 ○田中紀史1・新倉聡1・武田和義2(1.例トーホク、2.岡山大学資生研)	◆座長 高倉由光(JT植物) 626 塩ストレス下におけるヨシのイオン含量について ○高橋竜一・高野哲夫(東大アジアセンター) 627 根特異的に耐塩性遺伝子を発現させたシロイヌナズナの作出とその耐塩性評価 ○米本智仁・高野哲夫(東大アジアセンター) 628 OsNAC6の発現解析と形質転換イネの耐塩性 ○大西孝幸1・菅原正士1・平野博之2・久保田弓子3・堤伸浩1・吉羽洋周3(1.東大院農学、2.東大院理学、3.日立・中研) 629 ホストレスによってキュウリ子葉中に誘導されるプロテインキナーゼの生化学的解析 ○鶴川康昭・正木俊平・金勝一樹(農工大農) 630 ポリアミン代謝の遺伝子操作によるサツマイモの環境ストレス耐性の改良 ○春日部芳久1・渡壁百合子1・賀 利雄2・大谷基泰3・島田多喜子3・橋 昌司2(1.東洋紡総研、2.三重大生資、3.石川県農短大農資研)	◆座長 保坂和良(神戸大食資源) 726 のらぼう菜の抽苔に関する系統間差異 ○北浦健生1・高北英治2・河田隆弘1・上井憲治3・北 宜裕1(1.神奈川農総研、2.北里大理、3.横浜川崎普及セ) 727 日本のダイコンの起源と分化.IX.ハマダイコンにおける葉緑体の塩基配列の多型 ○尾崎昭子・石橋篤志・佐々木淳子・山岸 博(京都産大工) 728 日本のダイコンの起源と分化.X.栽培・野生ダイコンにおける「黒ダイコン」型細胞質の分布 ○山岸 博・佐々木淳子(京都産大工) 729 葉緑体ゲノムにおけるPS-ID多型が示唆する栽培メロンの多元起源 ○田中克典1・明石由香利1・福永健二2・吉野熙道1・西田英隆1・加藤謙司1(1.岡山農大、2.日文研) 730 アシタバにおけるカルコン類の組成変異 ○南 晴文・榎田優子(東京農試)

2日目(9月22日) 午後			
第4会場 (1231番教室)	第5会場 (1211番教室)	第6会場 (1221番教室)	第7会場 (1321番教室)
◆座長 高岩文雄(生物研) 431 細胞外分泌型マイモキチナーゼ遺伝子の導入によるキクの花白病抵抗性増強 ○平島敬太1・村上英子2・古賀正明3・佐伯由美1・中原隆夫1・古賀大三4(1.福岡農総試、2.福岡病害虫防除所、3.福岡大理、4.山口農大) 432 イネキチナーゼ遺伝子を導入した形質転換シクラメンの特性解析 ○滋澤直恵1・山村智通2・Sylvain Hiver3・岡本龍史3・西澤洋子4・寺川輝彦2・小柴共一3(1.東京農試、2.北農化学開発研、3.都立大、4.独法生物研) 433 イネのエンハンサートラップ系統の作成とトラップされた遺伝子のクローニング ○伊藤幸博・永口貢・倉田のり(遺伝研) 434 ダイコンの雄性不稔遺伝子$orf138$を薬特異的に発現するタバコ形質転換体の作出 ○佐伯泰子・山岸博・寺地徹(京産大工) 435 マンノシン合成酵素遺伝子由来双方向プロモーターで制御された導入遺伝子のキクにおける安定的高発現 ○篠山治恵1・村上英子2・岡野江津子3・萩原葉子4・長谷川徹5・中村典義6・土岐精一3・平島敬太2・市川裕章3(1.福井農試、2.福岡農総試、3.生物研、4.静岡東部農林事務所、5.愛知農総試、6.佐賀果樹試)	◆座長 矢野昌裕(生物研) 531 イネ2重外穎突然変異体の遺伝分析 高年禮逸朗(北大院農) 532 特定の葉位以降の葉身が捲葉となる水稻変異体KT95の遺伝解析 ○鈴木保宏1・平澤秀雄2・池田良一3・伊勢一男3・佐藤宏之1・石川哲也4(1.作物研、2.茨城・生工研、3.国際農研セ、4.中央農研セ) 533 イネ胚乳粉質変異$flo3$遺伝子のマッピング ○田崎三香子1・田中康昌1・上村裕二1・熊丸敬博1・中村保典2・大坪研一3・佐藤光1(1.九大院農、2.秋田県大生資、3.食総研) 534 稲のアミロース含有率に關与する遺伝子座の同定 ○三枝大樹1・平林秀介2・竹内善信2・出田収2・梅本貴之2・青木法明2・根本博2・安東郁男2・加藤浩2・井辺時雄2(1.宮崎県農総試、2.作物研) 535 イネ品種「兵庫北錦」と「北陸142号」の雑種集団を用いた心白発現および粒大に関するQTL解析 澤田桂子1・久世淳子1・吉田晋弥2・池上勝2・中村千春1・石井尊生1・○上島脩志1(1.神戸大農、2.兵庫県農林水産技術総合センター)	◆座長 安井 秀(九大院農) 631 異なる系統に由来するオオムギ赤かび病抵抗性QTL ○堀清純・南角奈美・畑徹・佐藤和広・武田和義(岡大資生研) 632 イネのリン酸欠乏によって誘導される根伸長2.染色体部分置換系統によるQTLの再確認 ○清水顕史・加藤謙之・穴戸理恵子・野村和成・池橋宏(日本大生物資源) 633 日日交雑系統を用いた、米の食味理化学的特性に関するQTL解析 ○和田卓也1・内村要介1・尾形武文1・坪根正雄1・浜地勇次1・松江勇次1・吉村淳2(1.福岡農総試、2.九大農) 634 <i>Zoysia</i> 属植物の種間交雑系統における耐塩性評価 ○古富史朗・松田晴・村田達郎(九州東海大農) ◆座長 和田卓也(福岡農総試) 635 陸稲におけるデンプン枝付け酵素の変異について ○岡本和之1・梅本貴之2・石井卓朗1・眞鋼徹1・岡野克紀1・平澤秀雄1(1.茨城農総セ 生物工学研究所、2.作物研究所)	◆座長 西田英隆(岡山農大) 731 RAPDから見た温海かぶと日本在来カブとの遺伝的類縁関係 ○栗原誠・鎌倉由紀・江頭宏昌(山形大農) 732 山形県庄内地方在来の苗代イモ系統間のRAPD分析 ○江頭宏昌・石原 尚・小西由佳(山形大農) 733 RAPDおよびAFLPによるイチゴ品種「とちおとめ」および「とちひめ」識別マーカーの選抜 ○田崎久久・柏谷祐樹・小林俊一・生井潔・酒井美幸・天谷正行(栃木農試) 734 複合種ニガナ種内の遺伝的多様性 ○工藤貴寛・高原美規・山元皓二(長岡技大・工学) 735 <i>Iris</i> 属植物における有用アントシアニン変異の探索 ○今山輝之1・塩田幸恵2・藪谷勤2(1.鹿児島連大、2.宮崎大農)

2日目(9月22日)午後			
9月22日	第1会場(190番教室)	第2会場(120番教室)	第3会場(281番教室)
	◆座長 加藤清明(帯広畜大)	◆座長 吉田 薫(東大院生命農学)	◆座長 佐藤 光(九大院農)
14:00	136 ナスSSR濃縮ライブラリの構築 ○布目司・諏訪部圭太・大山暁男・福岡浩之(野茶研)	236 パンコムギDREB2 ホモログの選択的スプライシングとストレス処理の関係 ○江川千佳子・小林史典・中村千春・宅見薫雄(神戸大農)	336 新規のイネ優性変異体 <i>Twisted dwarf1</i> は極矮性と葉のねじれを伴う ○春原英彦1・河合隆行2・佐藤豊2・佐藤かんな3・松岡信1・北野英己1(1.名大生物機能開発利用研セ、2.名大生命農、3.東京農工大BASE)
14:12	137 大量塩基配列データからのSSRマーカー自動設計システムの構築 ○福岡浩之1・布目司1・大山暁男1・諏訪部圭太1・河野いづみ2・並木信和2(1.野菜茶研、2.STAFF研究所)	237 ABA非感受性変異体におけるパンコムギ低温誘導性遺伝子群の低温応答性 ○小林史典・江川千佳子・中村千春・宅見薫雄(神戸大農)	337 イネ半矮性遺伝子座 <i>sd1</i> に座乗する起源の異なる対立遺伝子の解析 ○入江憲治1・長峰司2・巖花1・Ye Tint Tun1・藤巻宏1・菊池文雄1(1.東農大、2.近農研)
14:24	138 TWO STEP PCRにより単離されたコムギSSRの解析-レトロトランスポゾンに相同なSSR配列の特徴 ○小池倫也1・柿田淳史1・川浦香奈子2・萩原保成2(1.北海道グリーンバイオ研究所、2.京都府立大学農学研究科)	238 コムギにおける <i>Mlo</i> 遺伝子ファミリーの構造及び発現解析 ○小西吾吾1・根本泰江2・笹沼恒男1・笹隈哲夫1(1.横浜市大・木原生研、2.国際農研)	338 シアン耐性呼吸鎖はチトクローム鎖抑制条件下でパンコムギの発芽初期成長を可能とする ○Nayden Naydenov・中村千春(神戸大農)
14:36	139 パンコムギのESTを利用したマーカーの開発 ○佐藤宏行1・許東河2・坂智広2・木庭卓人1(1.千葉大院自然科学、2.国際農研)	239 cDNAマクロアレイを用いたダイズの冠水応答性遺伝子の解析 ○木藤一詩1・櫻井望2・柴田大輔2・高野哲夫1(1.東大アジアセンター、2.かずさDNA研究所)	◆座長 服部 一三(名大院農) 339 イネ登熟種子中のアミロプラストの単離 ○桐生優子・徳永貴史・田崎三香子・竹本陽子・佐藤光(九大院農)
14:48	140 アブラナ科野菜のミスマッチ切断酵素による日本型イネ品種の一塩基多型の解析 ○白澤健太・佐藤豊・岸谷幸枝・西尾剛(東北大院農)	240 アブラナ科野菜根こぶ病によるハクサイ根こぶ形成時における <i>BrNIT2</i> 遺伝子の転写制御とその <i>Brassica</i> 属における普遍性について ○安藤杉尋1・蒲池伸一郎1・對馬誠也2・萩尾高志1・小川泰一1・土生芳樹1・田部井豊1(1.生物研、2.農環研)	340 イネ胚乳種子中のスターチホスホリラーゼの同定及び細胞内局在 ○徳永貴史1・柴原賢介1・西愛子1・中村保典2・大坪研一3・佐藤光1(1.九大院農、2.秋田県立大学、3.食総研)
15:00	◆座長 木庭卓人(千葉大院自然科学) 141 オオムギの異なるマップ両親におけるESTマーカー多型の比較 ○南角奈美1.2・元井由加1.2・佐藤和広1・武田和義1(1.岡大資生研、2.CREST)	◆座長 平野 久(横浜市大木原生研) 241 イネのフィチン酸合成に関与する遺伝子群の定量real-time RT-PCR解析 ○吉田 薫(東大院農学生命科学)	341 イネグルテリン前駆体を集積する <i>glup7</i> 変異体胚乳細胞の組織学的解析 ○上田悠加1・竹本陽子1・佐藤美緒1・熊丸敏博1・田中國介2・大坪研一3・小川雅広4・佐藤光1(・九大院農、・京都府立大農、・食総研、・山県立大学生活科学)
15:12	142 比較ゲノム手法を用いたオオムギ稈性回復遺伝子 <i>Rfm1</i> のマッピング ○半田裕一1・Mohammad Sameri1・張 孟基2・柴田未知恵3・並木信和3・金森裕之3・小松田隆夫1(1.生物研、2.国立台湾大学、3. STAFF研)	242 トウモロコシの根における通気組織形成の分子機構の解明 ○渡邊亮介1・鈴木一正1・大津和弘1・西澤直子1.2・堤伸浩1・中國幹生1(1.東大院、農学生命科学、2.CREST)	342 イネグルテリン前駆体を集積する <i>Glup5</i> 変異体胚乳の組織学的解析 ○竹本陽子1・上田悠加1・佐藤美緒1・熊丸敏博1・田中國介2・大坪研一3・小川雅広4・佐藤光1(1.九大院農、2.京都府立大農、3.独法食総研、4.山県立大学生活科学)
15:24	143 イネいもち病真性抵抗性遺伝子 <i>Pik</i> に連鎖するDNAマーカーの作出 ○安ヶ平紀子・竹澤利和・阿部潤(岩手農研セ)	243 ETO1によるエチレン生合成系酵素ACS5のプロテアソーム依存的制御 ○吉田 均1・Kevin L.-C. Wang2・Claire Lurin3・Joseph R. Ecker2(1.中央農研、2. Salk Inst.. 3. INRA)	343 リンゴ果実完熟型ACS3 遺伝子の構造と発現解析 ○高橋彩子1・千田峰生2・石川隆二1・赤田辰治2・新聞 稔1・原田竹雄1(1.弘前大農学生命、2. 弘前大遺伝子実験施設)
15:36	144 イネ日本型品種コシヒカリのBACライブラリーの作成 ○上田忠正1・片桐敏2・楊勳志1・清水武彦2・山内歌子1・小西左江子2・山本伸一1・宇賀優作1・呉健忠1・松本隆1・佐々木卓治1・矢野昌裕1(1.生物研・2. STAFF研)	244 オオムギの網羅的タンパク質マップ構築の試み ○杉本 学1・佐藤和広2・武田和義2(1. 岡大資生研細胞分子生化学グループ、2. 岡大資生研大麦・野生植物資源グループ)	◆座長 原田竹雄(弘前大農学生命) 344 コムギの培養系・形質転換系の改良 ○萩尾高志・蒲池伸一郎・安藤杉尋・須永亜矢子・佐竹絵美・小長谷賢一・小川泰一・土生芳樹・田部井豊(生物研)

2日目(9月22日)午後			
第4会場(1231番教室)	第5会場(1211番教室)	第6会場(1221番教室)	第7会場(1321番教室)
◆座長 伊藤幸博(遺伝研) 436 イネにおけるCoQ10(ユビキノール-10)の生産 ○高橋咲子1・草野博明1,2・荻山友貴3・島田浩章2・川向誠3・門脇光一1(1.生物研、2.東京理大・生物工、3.島根大・生命工) 437 貯蔵タンパク質が低減した組換えイネの解析とその応用 ○黒田昌治1・木水真由美1・三上周子1・齋藤雄飛2・増村威宏2・田中園介2(1.中央農研北陸、2.京都府立大学) 438 ダイズ貯蔵タンパク質グリシニンA1aB1b及びA3B4を共発現させた形質転換イネの解析 ○高岩文雄1・多田欣史1・内海成2(1.生物研、2.京大) 439 Iron accumulation does not parallel with super-high expression of soybean ferritin in transgenic rice seed ○Le Qing Qu1・Toshihiro Yoshihara2・Akio Ooyama1・Fumiyuki Goto2・Fumio Takaiwa1(1.NIAS, 2.CRIEPI)	◆座長 高牟禮逸朗(北大院農) 536 戻し交配後代を用いたイネ晩熟生品種Nona Bokraの出穂期間連遺伝子座の検出 ○宇賀優作1・野々上慈徳2・梁 正偉3・林 鴻宣4・矢野昌裕1(1.生物研、2.農林水産先端研、3.中国科学院東北地理与農業生態研、4.中国科学院上海植物生理生態研) 537 イネ品種「ほしのゆめ」と「日本晴」の組合せを用いた出穂日に関するQTL解析 ○藤野賢治・関口博史(北海道グリーンバイオ研究所) 538 イネイントログレッションラインを利用した脱粒性遺伝子のマッピング 加藤和直・○土井一行・吉村 淳(九大院農) 539 戻し交雑世代を用いて解析したイネ矮性遺伝子座<i>d35</i>と稈長に関するQTLとの間の交互作用 ○竹田修一1・友岡純一1・田浦悟2・佐藤宗治1・一谷勝之1(1.鹿児島大農、2.鹿児島大生科研)	◆座長 和田卓也(福岡農総試) 636 Wxタンパク質欠失系統を用いた中華麵およびうどんの物性比較 ○田中裕子1・野田高弘2・山内宏昭2・三浦秀穂1(1.帯畜大、2.北農研) 637 軟質小麦の製粉性の改善に向けた検討 ○高田兼則・谷中美貴子・石川直幸(近中四農研) 638 小麦粉ペースト色の経時変化と品種間差異 ○辻孝子・吉田朋史・藤井深(愛知農総試) ◆座長 高田兼則(近中四農研) 639 ダイズのビタミンE活性向上に向けた遺伝育種学的研究 1.高α-トコフェロールダイズ品種の同定 ○氏家綾1・山田哲也1・藤本健四郎2・遠藤泰志2・喜多村啓介1(1.北大院農学、2.東北院農学) 640 ダイズ子実中Ca含有量の豆腐加工適性への影響 ○高橋浩司・羽根牧太・戸田恭子・平賀勲(作物研究所) 641 原麦全β-アミラーゼ活性による極高ジアスターゼカビール大麦の選抜 ○関和孝博1・山口恵美子1・渡邊修孝2・小田俊介3・加藤常夫1・長嶺敬1(1.栃木農試栃木分場、2.現栃木安定農振、3.九冲農研) 642 オオムギプロテアーゼに関する育種的研究5 ミカモゴールデンとHarringtonのDH集団におけるQTLの年次間比較 ○木原 誠1・岡田吉弘1,4・関和孝博2・河田尚之3,4・金子隆史1・斉藤 涉1・朝倉隆司1・伊藤一敏1(1.サッポロビールバイオリソース研、2.栃木農試栃木分場、3.農研機構作物研、4.現：九冲農研セ) 643 アシルトランスフェラーゼ遺伝子はトウガラシ辛味成分原因遺伝子か？ ○郎垂琴1・柳川諭史2・笹沼恒男1・笹隈哲夫1(1.横浜市大・木原生研、2.トキタ種苗)	◆座長 江頭宏昌(山形大農) 736 ダイズ種子7Sグロブリンβサブユニット変異系統の特徴 ○太田一良1・平田豊1・劉珊珊1・Vo Cong Thanh2(1.東京農工大学・国際環境農学、2.Canto Univ.) 737 機能領域の多様性に基づく遺伝資源の評価4. PBA、SSRおよび農業形質をもとにしたミャンマー由来イネ遺伝資源の特性 ○山中慎介1, San San Yi2, Shanker L. Kothari1,3, Tin Htut4, 渡邊和男1(1.筑波大生命環境・遺伝子実験センター、2.VFRDC, Myanmar, 3.Univ. Rajasthan, India, 4. CARL, Yezin, Myanmar) 738 機能領域の多様性に基づく遺伝資源の評価5. ミャンマー在来マンゴー品種のDNA多型について ○渡邊純子1, San San Yi2, Khaw Win2, May Thin Khin2, 山中慎介1, 渡邊和男1(1.筑波大生命環境・遺伝子実験センター、2.VFRDC, Myanmar) 739 Evaluation of genetic resources based on the diversity on functional regions VI. DNA polymorphisms in Myanmar banana major landraces. ○Wang Yusong1,2, Watanabe, J.A.1, San San Yi3, Than Htaik3, Khaw Win3, S. Yamanaka1 and K. N. Watanabe1(1. Gene Res. Ctr., Grad Sch. Life & Environ. Sci., Univ. Tsukuba, 2. Inst Trop. Agr. Res., Hainan, China, 3. VFRDC, Myanmar) ◆座長 平田 豊(農工大) 740 SSR多型に基づくサクラ属サクラ亜属11種15分類群の遺伝的変異 ○太田智1,2・勝本俊雄3・田中孝尚4・林 建樹5・佐藤洋一郎6・山本俊哉5(1.岐大連農、2.静大農、3.森林総研・多摩森林科学園、4.東北大生命科学、5.果樹研究所、6.地球研) 741 日本産タケ連植物の遺伝育種学的研究. XX. ヤダケは雑種起源か？ 村松幹夫 742 アンデス産アカザ科穀類「キヌア」の遺伝資源評価Ⅰ.アンデス山脈における分布と多様性 ○藤倉雄司1・秋本正博1・Angel Mujica2・本江昭夫1(1.帯畜産大、2.Altiplano U.) 743 アンデス産アカザ科穀類「キヌア」の遺伝資源評価Ⅱ. 遺伝的多様性と品種分化 ○秋本正博1・政坂了1・藤倉雄司1・Angel Mejica2・本江昭夫1(1.帯畜大、2.Altiplano U.) ◆座長 秋本正博(帯畜産大) 744 葉緑体ゲノム配列の比較により明らかになった、サトウキビ属植物の近縁性とその遺伝的類縁関係 高橋咲子1・○古川勉1,2・浅野敬孝1・寺島義文3・杉本明3・島田浩章2・門脇光一1(1.生物研、2.東京理大・生物工、3.九州沖縄農研センター)
◆座長 山村三郎(岩手生工研) 440 細胞壁結合型酸性インペルターゼ遺伝子<i>Wiv-1</i>の果実特異的発現によるトマト果実糖含量への影響 ○大山晴男1・布目司1・平井正志1,2・福岡浩之1(1.野茶研、2.京都府大農) 441 キクイモ(<i>Herianthus tuberosa</i>)1ーSST遺伝子を導入したタバコおよびテンサイ(ビート)におけるフラクトオリゴ糖の産生 ○谷口美香1・永田裕加里1・砂山陽亮2・玉掛秀人3・安西弘行1(1.茨城大遺伝子、2.株式会社なとり、3.道立中央農試) 442 トランスジェニックイネにおける半数体および倍加半数体の解析 ○柴田翔1・島谷千礼1・森拓也1・安西弘行1・井上栄一2(1.茨城大遺伝子、2.茨城大農) 443 組換えイネにおけるヒトラクトフェリン高発現後代の解析 ○保坂壮彦1・樺沢満美子1・加藤恵1・高岩文雄2・安西弘行1(1.茨城大遺伝子、2.生物研) ◆座長 渡邉和男(筑波大生命環境) 444 低温耐性を付与した遺伝子組換えイネ(Sub29系統)の隔離ほ場における生育特性 ○長谷川義孝1・竹澤利和2・小林括平1・寺内良平1・山村三郎1・日向康吉1(1.岩手生工研、2.岩手農セ)	◆座長 土井一行(九大院農) 541 イネ(<i>Oryza sativa</i> L.)穂首維管束系と穂形質との関係およびそれらのQTL解析 ○渡邊敏行・福山利範(新潟大農) 542 イネ低温苗立ち性のQTL解析 ○手塚耕一1・川本朋彦2・松本真一2・眞崎聡2・小玉郁子2・高橋秀和1・森宏一1・赤木宏守1(1.秋田県立大 生物資源、2.秋田県農試) 543 イネのカドミウム蓄積に関するQTL解析 ○山口誠之1・福田善通2,3・片岡知守1・遠藤貴司1・中込弘二1(1.東北農研、2.IRRI、3.国際農研) 544 浮イネの節間伸長に関するQTLの検出 ○服部洋子1・三浦孝太郎1・浅野賢治1・北野英己2・松岡信2・芦荻基行2(1.名大院生命科学、2.名大生物機能)		

2日目(9月22日)午後			
9月22日	第1会場(190番教室)	第2会場(120番教室)	第3会場(281番教室)
	◆座長 半田裕(生物研)	◆座長 平野 久(横浜市大木原牛研)	◆座長 原田竹雄(弘前大農学生命)
15:48	145 遺伝的背景を異にするバレイショ2倍性雑種における自家不和合性阻害遺伝子(<i>Sli</i>)の発現 ○保坂和良1・池口(佐光)由紀子2・小林晃3・森元幸3(1.神戸大食資源センター、2.神戸大農、3.北農研センター)	245 DNAアフィニティーカラムクロマトグラフィーと二次元電気泳動を利用したイネ発芽種子中のDNA結合タンパク質の生化学的解析 ○正木俊平・金勝一樹(農工大農)	345 イネのembryogenic callusの形成と再分化に関する解析 ○元田譲・服部一三(名大院生命科学)
16:00	146 Selfing diploid potatoes towards the development of pure lines ○Phumichai, C.1, M. Mori2, A. Kobayashi2, O. Kamijima3 and K. Hosaka4(1. Grad. Sch. Sci. Technol., Kobe U., 2. Natl. Agric. Res. Cent. Hokkaido, 3. Fac. Agr., Kobe U., 4. Food Resour. Edu. & Res. Ctr., Kobe U.)		346 ニュージーランドより採集した芝草(<i>Zoysia minima</i>)におけるカルスからの植物体再分化系の確立 Poeaim Anurug・○松田晴・村田達郎(九州東海大農)
16:12	147 メロンの雄花・両性花内配偶子における組換え価の比較 ○飯屋博敬・衛藤威臣・岩井純夫(鹿大農)		347 ハナショウブの懸濁培養カルスおよびプロトプラストからの植物体再生 ○井上公一、國武久登2、藪谷勤2(1.鹿児島連大、2.宮崎大農)
16:24			348 <i>Dianthus acicularis</i> の懸濁培養細胞とプロトプラストからの植物体再生 ○柴智徳・三位正洋(千葉大園芸)

2日目(9月22日)午後			
	グループ研究集会		
9月22日	181番教室	182番教室	183番教室
17:00 ↓ 19:00	グループ研究集会I 育種学と農学のこれからを考えるXII 世話人：宇賀優作(農業生物資源研究所) 岩田洋佳(中央農業総合研究センター) 「植物育種のためのバイオインフォマティクスの利用と展望」 矢野健太郎(かずさDNA研究所)	グループ研究集会II 遺伝資源海外学術調査の現状と課題 世話人：大田正次(福井県立大学生物資源学部) 加藤鎌司(岡山大学農学部) 佐藤雅志(東北大学大学院生命科学研究所) 1.「中国および周縁諸国におけるムギ類の栽培・利用と遺伝資源見聞」 露崎 浩(秋田県立大学) 2.「ドクムギの多様性はどのように維持されてきたかーエチオピア・マロの事例ー」 富永 達(京都府立大学)	グループ研究集会III 新しい「農の世界」を探るII. 世話人：高木俊江(東京大学農学部) 「その12 地方野菜の発掘から見えるもの」 小林 保(兵庫県立農林水産技術総合センター)

2日目（9月22日）午後

第4会場（1231番教室）	第5会場（1211番教室）	第6会場（1221番教室）	第7会場（1321番教室）
◆座長 渡邉和男（筑波大生命環境） 445 低温耐性を付与した遺伝子組換えイネ（Sub29系統）の隔離ほ場における安全性評価 長谷川義孝1・竹澤利和2・小林括平1・寺内良平1・○山村三郎1・日向康吉1（1.岩手生工研、2.岩手県農セ） 446 遺伝子導入により草型を変更したイネの開鎖系温室、非開鎖系温室における安全性評価 ○古賀保徳1・森中洋一1,2・蒲池紳一郎1・大竹祐子1・對馬誠也3・松岡信2・田中有司1,4・田部井豊1(生物研1、名大生物機能2、農環研3、中央農研4)	◆座長 平井正志（京都府大） 545 異なる温度条件下で栽培したダイズのイソフラボン含量に関する発現QTLの違い ○緒方大輔1・吉川貴徳1・寺井雅一2・山田直弘3・佐山貴司1・松井 勲1・片岡圭子1・寺石政義1・中崎鉄也1・奥本裕1・矢ヶ崎和弘3・戸田登志也2・谷坂隆俊1・山田利昭1（1.京大院農、2.フジッコ(株)、3.長野県中信農試） 546 ダイズのハスモンヨトウに対する抗生性のQTL解析 ○小松邦彦1・奥田しおり1・高橋将一1・松永亮一2・中澤芳則1（1.九州沖縄農研、2.国際農研） 547 春まきネギの初期生育に関するQTL解析 ○塚崎光・小原隆由・若生忠幸・山下謙一郎・小島昭夫（農研機構野菜茶研） 548 緑茶の審査において“色沢”評点との関連性が認められるチャのDNAマーカー ○田中淳一・谷口郁也（野菜茶業研究所）		◆座長 秋本正博（帯広畜大） 745 散在型反復配列のサトウキビ属における種特異的な蓄積 中山繁樹（生物研） 746 ギニアグラスのSSRマーカーの開発と系統識別 幸喜香織1・○蝦名真澄1・稲福政史2・高原学2・霍田真一3・明石良3・山本俊哉4・奥村健治5・中川仁6・中島卓介7（1.沖縄畜試、2.畜草研、3.宮大農、4.果樹試、5.北農研、6.生物研、7.日大生物資源） 747 アワチドリ（<i>Ponerorchis graminifolia</i> var. <i>suzukiana</i>）未熟種子のガラス化法による超低温保存 ○平野智也1・石川恵子2・三位正洋1（1.千葉大院自然科学、2.日本園芸生産研）

講演番号・座長一覧

	第1会場 2号館190教室	第2会場 1号館120教室	第3会場 2号館281教室	第4会場 3号館1231教室	第5会場 3号館1211教室	第6会場 3号館1221教室	第7会場 3号館1321教室
21日午前	101-105 武田 真 (9:00-10:00)	201-205 野々村賢一 (9:00-10:00)	301-305 岸谷幸枝 (9:00-10:00)	401-405 丸橋 亘 (9:00-10:00)	501-505 米澤勝衛 (9:00-10:00)	601-606 藤村達人 (9:00-10:12)	701-706 門脇光一 (9:00-10:12)
	106-110 三浦秀穂 (10:00-11:00)	206-210 平野博之 (10:00-11:00)	306-310 久保友彦 (10:00-11:00)	406-410 石井尊生 (10:00-11:00)	506-510 新発田修治 (10:00-11:00)	607-610 野田和彦 (10:12-11:00)	707-710 河原太八 (10:12-11:00)
	111-115 最相大輔 (11:00-12:00)	211-215 富田因則 (11:00-12:00)	311-315 菅野 明 (11:00-12:00)	411-415 森川利信 (11:00-12:00)	511-515 石井卓朗 (11:00-12:00)	611-615 藤井 潔 (11:00-12:00)	711-715 大田正次 (11:00-12:00)
22日午前	116-120 貴島祐治 (9:00-10:00)	216-220 荻原保成 (9:00-10:00)	316-321 渡辺正夫 (9:00-10:12)	416-420 小松 晃 (9:00-10:00)	516-520 大澤 良 (9:00-10:00)	616-620 福岡修一 (9:00-10:00)	716-720 加藤鎌司 (9:00-10:00)
	121-125 前川雅彦 (10:00-11:00)	221-225 寺地 徹 (10:00-11:00)	322-325 佐々英徳 (10:12-11:00)	421-425 石本政男 (10:00-11:00)	521-525 井辺時雄 (10:00-11:00)	621-625 高野哲夫 (10:00-11:00)	721-725 福岡浩之 (10:00-11:00)
	126-130 中崎鉄也 (11:00-12:00)	226-230 氷見英子 (11:00-12:00)	326-330 西尾 剛 (11:00-12:00)	426-430 千田峰生 (11:00-12:00)	526-530 小松田隆夫 (11:00-12:00)	626-630 高倉由光 (11:00-12:00)	726-730 保坂和良 (11:00-12:00)
22日午後	131-135 布目 司 (13:00-14:00)	231-235 宅見薫雄 (13:00-14:00)	331-334 北野英巳 (13:00-13:48)	431-435 高岩文雄 (13:00-14:00)	531-535 矢野昌裕 (13:00-14:00)	631-634 安井 秀 (13:00-13:48)	731-735 西田英隆 (13:00-14:00)
	136-140 加藤清明 (14:00-15:00)	236-240 吉田 薫 (14:00-15:00)	335-338 佐藤 光 (13:48-14:36)	436-439 伊藤幸博 (14:00-14:48)	536-540 高牟禮逸朗 (14:00-15:00)	635-638 和田卓也 (13:48-14:36)	736-739 江頭宏昌 (14:00-14:48)
	141-144 木庭卓人 (15:00-15:48)	241-245 平野 久 (15:00-16:00)	339-343 服部一三 (14:36-15:36)	440-443 山村三郎 (14:48-15:36)	541-544 土井一行 (15:00-15:48)	639-643 高田兼則 (14:36-15:36)	740-743 平田 豊 (14:48-15:36)
	145-147 半田裕一 (15:48-16:24)		344-348 原田竹雄 (15:36-16:36)	444-446 渡邊和男 (15:36-16:12)	545-548 平井正志 (15:48-16:36)		744-747 秋本正博 (15:36-16:24)

文科省科研費・特定領域研究「植物自家不和合性」公開シンポジウム

「植物の生殖研究 -その最前線と今後の方向-」

日程： 平成16年11月22日（月）13:00 ～ 11月23日（火）12:30

場所： 東京大学・弥生講堂

【11月22日】

1. はじめに

13:00-13:20 磯貝 彰（奈良先端大）

2. 「生殖成長への転換 -その決定・開始・進行の制御」

13:20-14:00 島本功（奈良先端大）

「イネにおける開花制御の遺伝子ネットワーク」

14:00-14:40 荒木崇（京都大）

「FT -葉における光周性花成誘導と茎頂における
花芽分裂組織形成のリンク-」

14:40-15:20 経塚淳子（東京大）「花序形成に関わる遺伝子の協調的な発現と機能」

15:20-15:40 休憩

3. 「生殖器官の分化と配偶体形成」

15:40-16:20 平野博之（東京大）

「イネの花器官アイデンティティの遺伝的決定機構」

16:20-17:00 野々村賢一（遺伝研）

「相同染色体の対合を促進する減数分裂特異的なイネ遺伝子の解析」

17:00-17:40 鳥山欽哉（東北大）

「花粉壁構築と雄性不稔」

18:00-20:00 懇親会（弥生講堂）

【11月23日】

4. 「雌雄蕊の相互作用 -自家不和合性，受精」

9:00- 9:40 高山誠司（奈良先端大）

「アブラナ科植物の自家不和合性機構」

9:40-10:20 神山康夫（三重大）

「自家不和合性機構の多様性」

10:20-10:40 休憩

10:40-11:20 清水健太郎（North Carolina State Univ.）

「分子集団遺伝学からみたシロイヌナズナの有性生殖」

11:20-12:00 東山哲也（東京大）

「*in vitro*系でみる受精のダイナミクスと介在物質群」

12:00-12:30 総合討論

参加費は無料です。懇親会(有料)参加ご希望の方は、下記連絡先までお知らせ下さい。

連絡先：掛田克行 (kakeda@bio.mie-u.ac.jp)

三重大学生物資源学部 (〒514-8507 津市上浜町 1515)

TEL: 059-231-9484 FAX: 059-231-9540